

会長のページ 再びAI（チャットGPTを試用して）	河野 雅行	3
日州医談 医師会の組織力強化と医師会を取り巻く環境の変化	市来 能成	4
随 筆 キーレス時代	谷口 二郎	6
レトロ to ミライ	石橋 俊秀	8
エコー・リレー（580）	中尾 紘一, 秋月 英治	11
メディアの目 「南海トラフ巨大地震」災害報道への対応と備え	寺田 健吾	18
身近なお困りごと相談室	高山 桂	19
宮崎大学医学部だより 地域医療・総合診療医学講座	吉村 学	24
専門分科医会だより（内科医会）	玉置 昇	25
診療メモ 臍帯血バンクについて～臍帯血治療の現状と展望～	児玉 由紀	64
宮大医学部学生のページ		
研究室配属について 機能生化学分野	眞崎 翔	66

あなたできますか？（令和4年度医師国家試験問題より）	10
叙勲・祝賀	12
褒章・祝賀	13
表彰・祝賀	14
宮崎県感染症発生動向	20
各郡市医師会だより	22
各種委員会（医学賞選考委員会）	26
各種委員会（医学会誌編集委員会）	27
第2回各郡市医師会長協議会	28
宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会	
宮崎県医師会医療事故調査支援委員会合同会議	30
九州医師会連合会第411回常任委員会	33
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	34
日医インターネットニュースから	36
医師国保組合だより	38
会員の異動・変更報告	40
理事会日誌	42
県医の動き	46
ドクターバンク情報	47
行事予定	53
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	55
令和5年総目次	68
ベストセラー	83
あ と が き	90

お知らせ 令和5年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	7
カット・イラストの募集	9
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	26
年末・年始の休館について	27
医療事故調査制度相談窓口	32
日州医事へのご意見・ご感想	51
医師年金ご加入のすすめ	82
女性医師の皆様へ（マタニティ白衣無料貸出）	83
郡市医師会への送付文書	84
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	87
医療勤務環境改善支援センター	88
日州医事原稿募集のお知らせ	89

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

ロッククライミング

延岡市北方町の県道214号をパッケン岩を目指して北上しているとき、ふと山を見上げると偶然2人の人影が見えました。垂直に切り立った岩肌を登ろうとしているようでした。足がすくむような光景でした。

綾 町 玉 置 昇

会長のページ

再びAI（チャットGPTを試用して）

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

チャットGPT（無料）を試しました。いくつかのキーワードを入力すれば文章になって表示されます。私の文章よりも優れており、有料であれば更に機能の高度なものもあるようです。今後の原稿はAIに任せて楽になるのではないかと淡い期待をします。ただし、今回の原稿は自作です。

現代のAIは生成AIと言われており、性能進化は日進月歩で今日の新製品も明日は型落ちになってしまいます。50年ほど前、研究データを画像処理するのに給料をはたいて購入した（当時はマイコンと称す）「アップル2」はソフト類もほとんどなく、マニュアル片手にベーシックワードでプログラミングしてなんとか作り上げ、学会で発表したのが懐かしく思い出されます。これは科研費に採用され後日雑誌に掲載しました（臨床整形外科1981年16巻）。当時は小容量でスピードも大変遅く、保存は磁気テープでした。専門家は、現代の安価で手軽なパソコンでも当初の大型機種以上の性能を持ち、容量も速度も格段に進化しており、将来は人智を超えると予測しています。現時点でも将棋やチェスの分野ではプロ級のレベルで、部分的にはすでに人間の能力を遥かに超えています。チャットGPTの能力があれば小説や俳句、短歌、作詞・作曲などあらゆる部門にも進出するのではないのでしょうか。芥川賞や直木賞をとるAIが出るかもしれませんし、さまざまな研究部門にまで進出すればノーベル賞の対象となるかもしれません。現在でも瞬時に正確な判断を要する部門には多用されており、その最たるものが軍事面であり、医療面でも画像読影や病理診断では威力を発揮し始めています。AI搭載の医療・介護器具も開発されており、産業界では大量生産や精緻作業にはAI搭載ロボットが不可欠です。二足歩行やジャンプ、宙返りなどの運動能力を備えたタイプやペットまでも開発されています。完全自動運転の車も開発中です。将来は競技スポーツの分野にも進出するかもしれません。その利便性から官公庁でも導入されつつあり、当然ながら関連したトラブルも発生しているようです。AI自身が際限なく進化して人を凌駕し駆使するSFのような時代になることも現実味を帯びてきました。あまりにも早く進化するAIの暴走を制御するための規制や法整備がなされ始めました。音響部門でもAIによる小型で性能の優れたものが出回っています。しかしマニアには真空管の音が最高だとの根強いこだわりもあるように、懐古趣味ではありませんが急激な進歩に振り回されることなく、今は一旦立ち止まることが必要なときかもしれません。何かを得れば何かを失うのは当然です。便利過ぎるチャットGPTを試用しての空想です。

(令和5年11月15日)

日州医談



医師会の組織力強化と 医師会を取り巻く環境の変化

宮崎県医師会 常任理事 いち き よし なり
市 来 能 成

1 はじめに

郡市医師会は地域住民や医療現場に最も近く、地域保健、初期救急、地域包括ケアなどに関わっています。都道府県医師会は都道府県行政を相手に幅広く医療に関わっています。そして、日本医師会は国を相手に医療に関する制度設計、財源の折衝を行っています。郡市医師会、都道府県医師会を通じて、現場からの情報収集を十分に行い、医療に関する問題を取り上げ、日本医師会の会務に反映させています。

2 日本医師会の組織力強化

日本医師会の組織率は1988年の56.9%から徐々に増加し、2002年には60.4%になりました。その後は漸減傾向が続き、2020年時点では51.2%となっています。九州地区は医師会加入率が比較的高く、鹿児島県、長崎県、大分県に次いで、宮崎県は64.1%の医師が加入しています。この数字に貢献しているのが、平成27年に研修医の会費を完全無料化し、毎年4月医学部卒業後にC会員（研修医）に加入していただく県医師会の取り組みです。しかし、研修終了後に会費負担が発生するため、C会員の退会率は近年67.7%から84.5%で推移しており、課題となっています。2年間の初期研修期間では医師会活動を体験する機会も少なく医師会員としての自覚が生まれにくいと思います。そこで、昨年

から郡市医師会、都道府県医師会そして日本医師会が足並みを揃えて、卒後5年間の会費の減免に取り組むように動いています。その他、C会員の入会金の免除や入会時の煩雑な手続きの軽減についても検討されています。

このような取り組みは組織率の向上に一定の効果を上げると思いますが、宮崎県における最も大きな課題はB会員（勤務医）の加入率が46.2%と低いことです。全国平均の34.7%よりは高いものの、医師会が勤務医の意見を十分に引き上げていないのではないかと危惧されます。また、会費の負担の問題も大きいと考えられ、日本医師会の代議員会でもB会員の会費引き下げについて議論されています。

ところで、日本医師会の医師賠償責任保険は専門の審査会が医療紛争の検証を行い、弁護士の手配を代行します。研修医の保険料相当額は年間15,000円で民間保険の団体割引を受けた場合の年間約40,000円より割安です。その他、電子処方箋の発行に不可欠な医師資格証の発行が会員では無料になっています。また、日本医師会生涯教育制度は卒後教育の充実に貢献し、日本医師会認定産業医制度は国に代わって、産業医の認定を行うことで、産業保健に深く関わっています。

医療界が求める制度・政策などを実現するためには、その決定プロセスに深く関与する必要があります。一旦決定した制度・政策を後から変更するのは極めて困難です。そして、日本医師会

の組織率が50%を切ると、職能団体として医師の代表とはみなされず、制度・政策などの決定プロセスに関与したとしてもその発言は重視されません。医師会の役割とは「国民の生命と健康を守る」、「医師の医療活動を支える」ことにあります。そのために日本医師会を取りまとめた現場の意見を省庁や国会議員へ提言します。医師会の提言が法改正につながることも少なくありません。

3 医師会を取り巻く環境の変化

少子化による人口減から医療需要は徐々に減少していきます。一方、働き手不足により医療提供体制の維持が困難になっていくと予想されます。そこで、国をあげて開始された取り組みが、医療界におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）です。今後は保健・予防の観点が重要になってくると考えられ、Personal Health Record（PHR）やElectronic Health Record（EHR）という言葉をよく耳にします。

2021年4月に設立された医療AIプラットフォーム技術研究組合（HAIP：Healthcare AI Platform）では医療AIサービスの普及・発展に向けた課題解決を目指し、研究・開発を推進しています。日本医師会でもAIホスピタル推進センターを立ち上げ、HAIPと連携しています。今後、AIホスピタルが実装化されるにあたっては法的・倫理的な検討が必要です。

2023年6月2日に取りまとめられた医療DXの推進に関する工程表では、マイナンバーカードの普及により2024年度には健康保険証を廃止し、年度末に電子処方箋を導入するとされ、3文書（診療情報提供書、退院時サマリー、健康診断結果報告書）、6情報（傷病名、アレルギー情報、感染症情報、薬剤禁忌情報、検査情報、処方情報）を共有する運用が開始されるよ

うです。更には介護情報の共有、自治体に提出する診断書などの電子化へと進み、標準型電子カルテの開発を開始し、2026年度には標準型レセコンと電子カルテの提供を行うそうです。そして、2030年度にはおおむねすべての医療機関における電子カルテの導入を目指すとなっています。医師の働き方改革により医師の労働時間を適切に管理し、提供する医療の質を低下させないためには、今後医師の仕事を他の職種（医療AIによる支援を含む）に移行させる必要があると思います。そのための道具として電子カルテが機能していくのであれば、よい未来が待っていると思います。しかし、医療費抑制政策を継続し、健康情報という非常に重要な特定個人情報の保護・リスク管理を医療機関に丸投げし、更に営利目的の企業が作成した高額で扱いにくい電子カルテを強制されるのであれば、悪い未来が待っていると感じます。

4 終わりに

医師会が「国民の生命と健康を守る」、「医師の医療活動を支える」という命題を扱うためには多くの人の知恵と協力が必要だと思います。今回のコロナ禍で医療界はかかりつけ医機能の制度整備に迫られました。警察や消防の組織と違い、医業は分業化が進んでおり、コロナ禍で指揮命令機能が十分発揮されない医師会という組織を住民は複雑な思いで見ていると思います。今後医師会に大多数の医師が加入し、多士済々の組織となれば未来に待ち受けるいくつかの困難な課題に立ち向かっていけると思います。問題は感染症だけではなく、南海トラフ地震などの災害にも準備する必要があります。そのためにはたくさんの優秀な勤務医の先生方に医師会に加入していただき、積極的に発信してほしいと考えています。

随 筆

キーレス時代

宮崎市 ^{たに}谷 ^{ぐち}口 ^じ二 ^{ろう}郎

最近物忘れが酷くなった。若いころからそうだったのだが、最近は特に酷くなった。例えばキーをどこに置いたか忘れてしまう。基本的にキーを入れるカゴに入れることにしている。だがつい帰ってきてその辺にばいと置き、脱いだ服の下になったりして見つからないことがある。あるいはポケットに入れっぱなしになっていてそのまま洗濯機に入っていたこともある。玄関のキーであればそれがないと入れないし、車のキーだと車を動かすことができない。急いでいるときは大慌てすることになる。

その他、失くすといけないのでキーを差し込み、ドアを開けた後キーを抜かずそのままにしておくことがある。ところが用事が終わりそのことをすっかり忘れ、キーを探すのにその部屋を隅々まで探し回ることもある。自転車のキーなども家に帰り着き、鍵をかけたつもりでそのままキーがつけっぱなしになっていることもしょっちゅうあり、出かけるときは「キーがない」と家族を巻き込んで大騒ぎする羽目になる。だがそういう人は世の中に五万というようだ。

そういうことを避けるため、ある方法をパトリック・クラマーさんというドイツ人が思いついた。それは体の中にチップを埋め込むという

ことだ。日本でも犬などに飼い主が誰か分かるようにチップを埋め込むことが義務化されている。それはどこかで迷っても飼い主が分かるようにである。それを人間に利用すればよいということである。

人間の場合左手の親指と人差し指の間に小さなマイクロチップを注射器で注入するという方法である。ほとんど痛みもなく、簡単に入れられるという。まずチップを2万5,000円で購入する。注入する費用は1万円。計3万5,000円で簡単に注入することができる。

そのチップをドアにかざすと自動的にドアが開く。またパソコンはパスワードなど必要ない。手をかざすだけでパソコンが立ち上がるのである。だからもしパスワードを忘れてしまっても、簡単にパソコンを起動させることができる。種類によってはクレジット機能が付いたチップもあり、手をかざすだけでクレジット決済ができるという。確かに手をかざすだけでスーパーなどのレジが素通りできるというのであれば夢のような話である。

将来的にはチップにマイナンバーカードのようにいろいろな情報が入れてあれば、旅先で倒れて意識がなくなってもその人のことが分かる

ようになる。氏名、住所、連絡先、血液型、持病、服用している薬、臓器提供の有無、場合によっては遺言などを入れることも可能だ。

ある記事によると、すでにヨーロッパでは2万5,000人、世界にはなんと50万人ぐらいの人にマイクロチップが埋め込まれているという。その数は急激に増加していくかもしれない。この方法は例えば目の不自由な人や病気やケガで手に障害がある人には便利かもしれない。というのもそういう人たちはいちいちカードを取り

出すという動作は困難である。もしそれが体の中に埋め込まれていたら、特別な操作をしなくてもよいということになる。

今や顔や指紋認証は当たり前になっている。それを考えるとこういう方法が日本でも急速に広がっていくかもしれない。便利という人もいるだろう、しかし超未来的過ぎてちょっと遠慮したいという人もたくさんいるに違いない。世の中我々の考えもつかないアイデアの持ち主がいるということに驚く。

お知らせ

令和5年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れております。

日本医師会認定「医療秘書」の資格を取得していると、医師事務作業補助者になるための「32時間以上の基礎知識習得研修が免除」されるという大きなメリットがあります。

つきましては、本学院では皆様のお役に立てる質の高い医療秘書の養成に向けてより一層努力してまいりますので、会員諸先生方におかれましては、今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、なにとぞ、**宮崎学園短期大学**よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

【就職希望者】 10名（男0名、女10名）

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL：0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

准教授 武村 順子

随 筆

レトロ to ミライ

延岡市 井上病院 ^{いし}石 ^{ばし}橋 ^{とし}俊 ^{ひで}秀

宮崎市の宮崎県総合博物館でレトロ to ミライ（思い描いた未来予想図）が令和5年7月15日（土）～8月28日（月）まで開催されていた。私は7月23日（日）に訪問した。

玄関近くには大怪獣の見本が展示されていた。出口付近には昔のウルトラマンなどの本が販売されていた。

まずは入館料無料の展示室に行ってみた。アンモナイトの化石、ティラノサウルス（恐竜）やサーベルタイガーの骨格標本が目をつけた。弥生時代の土器、狩猟の様子などが現代に至るまでのいろんな歴史にも触れた。

昭和時代の生活環境が展示されていた。例えば、畳の部屋があって、ちゃぶ台が置いてあり、外には赤い郵便ポストが設置されていた。無料の貸衣裳があり、畳の上に上がっての記念写真の撮影も可能だった。

有料コーナーには、ピンクレディーやアグネスチャンのレコード。リカちゃん人形の初代から2代、3代への見本。スチュワーズ、なでしこジャパンのユニフォーム姿、ジャイアンツのユニフォーム姿も見られた。怪獣（ブースカやカネゴンなど）や数々のウルトラマン人形（写真1）、昔のおもちゃ（けん玉、コマなど）

や駄菓子屋も展示してあった。

オリンピックで実際に使用された聖火トーチが置いてあり、自由に触れるし、記念写真の撮影も可能だった。

その中で一番驚いたのは、1964年ごろに未来では、空中列車（写真2）、空飛ぶ磁力列車（写真3）や垂直上昇ジェット機（写真4）を想定した人たちがいたことだ。

今回は展示されていなかったが、漫画の鉄腕アトムの中のようなロボットが活躍する未来は当たり前だったのだろうか。



写真1 ウルトラマンと怪獣たち



写真2 空中列車



写真3 空飛ぶ磁力列車



写真4 垂直上昇ジェット機

お知らせ

カット、イラストの募集

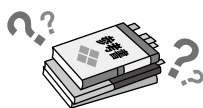
日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。



原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101
genko@miyazaki.med.or.jp



あなたできますか？

—令和4年度 医師国家試験問題より—

(解答は35ページ)

1. アレルギー性鼻炎の診断で原因抗原を特定するために行う検査はどれか。2つ選べ。
 - a プリックテスト
 - b 鼻汁好酸球検査
 - c 血清総IgE検査
 - d 末梢血好酸球数測定
 - e 血清特異的IgE検査
2. 肝硬変でみられない所見はどれか。
 - a 手掌紅斑
 - b 静止時振戦
 - c 女性化乳房
 - d くも状血管腫
 - e 腹壁静脈怒張
3. 48歳の男性。右眼の視力障害を主訴に来院した。保護眼鏡を装用せずに作業していたところ、右眼に鉄片異物が入り、その後右眼が見えなくなった。視力は右眼手動弁（矯正不能）、左眼1.2（矯正不能）。
診断に有用な検査はどれか。
 - a 蛍光眼底造影
 - b 眼窩部単純CT
 - c 網膜電図〈ERG〉
 - d 眼部超音波検査
 - e 眼窩部単純MRI
4. 処方箋について正しいのはどれか。
 - a 有効期間は1日である。
 - b 薬剤師に発行権限がある。
 - c 一般名による薬剤名の記載は有効である。
 - d 医療機関が特定の保険薬局を指定できる。
 - e 処方医は自筆で署名をしなくてはならない。
5. 定期予防接種の導入で小児における髄膜炎の発生頻度が著明に減少した感染症はどれか。2つ選べ。
 - a 結核
 - b 百日咳
 - c 日本脳炎
 - d 肺炎球菌感染症
 - e インフルエンザ桿菌感染症
6. 視診後の腹部診察順として正しいのはどれか。
 - a 触診 → 打診 → 聴診
 - b 触診 → 聴診 → 打診
 - c 打診 → 聴診 → 触診
 - d 打診 → 触診 → 聴診
 - e 聴診 → 打診 → 触診
7. 食思不振により体重が減少するのはどれか。2つ選べ。
 - a 糖尿病
 - b 副腎不全
 - c 褐色細胞腫
 - d Basedow病
 - e 副甲状腺機能亢進症
8. 躁状態でみられないのはどれか。
 - a 多弁
 - b 浪費
 - c 易怒性
 - d 見当識障害
 - e 睡眠欲求の減少
9. 7歳の男児。落ち着きのなさを心配した両親に連れられて来院した。学校の担任から、授業中じっと席に座っていることができず勝手に席から離れること、おせっかいが多く同級生の邪魔をしてしまうため喧嘩になること、忘れ物が多いことを指摘されている。自宅では後片付けや整理整頓が苦手だが、自分の好きなゲームには集中して取り組むことができる。外出時に車が来るのを確認せずに飛び出してしまうことがある。出生時に異常は指摘されなかった。乳幼児期の発達で明らかな遅れを指摘されたことはない。神経診察を含む身体所見に明らかな異常を認めない。
現時点で考えられる疾患について正しいのはどれか。
 - a 知的障害を伴う。
 - b 有効な薬物療法がある。
 - c 大人になると症状は消失する。
 - d 出生後の養育が発症要因である。
 - e 好ましい行動を褒めるよりも好ましくない行動を注意する。
10. 13歳の男子。運動後の呼吸困難を主訴に救急車で搬入された。昨日、給食でうどんを食べた後、午後1限目の体育で持久走をしたところ、全身の蕁麻疹、気分不快、咳嗽、喘鳴および呼吸困難が出現したため救急搬送され治療を受けた。1週間前にも同様のエピソードがあったが食事制限は行われていなかった。白血球6,700（好酸球5%）。IgE 740 IU/mL（基準170以下）。プリックテスト：コムギ抗原液のみ強陽性。
この患者に対する指導として最も適切なのはどれか。
 - a 「運動をしてはいけません」
 - b 「小麦の完全除去が必要です」
 - c 「抗ヒスタミン薬を登校前に服用してください」
 - d 「アドレナリン自己注射製剤を携帯しましょう」
 - e 「運動前に β_2 刺激薬を吸入すれば問題ありません」

エコー・リレー

(580回)

(南から北へ北から南へ)

眼 鏡

宮崎市 潤和会記念病院 なか お こう いち
中 尾 紘 一

2014年4月に栃木県（自治医科大学）から宮崎市に戻ってきて、もうすぐ10年経ちます。延岡リハビリテーション病院でも、隔週の金曜日に神経内科外来を行っていますので、県北の先生方にも大変お世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします。

私は、4歳のころ、母の運転する車に乗り、4つ年上の兄とすれ違う車のナンバープレートの数字を言い合う遊びをしようとしていました。しかし私は「数字が見えない」と言い出したらしく、母がびっくりし、慌てて眼科に連れていかれました。診察の結果、「遠視性弱視」であることが判明。視力が左0.3、右0.08しかなかったそうです。その後、中学生のころまで、牛乳瓶の底みたいな眼鏡をずっとかけていました。通常弱視は、早く発見して治療を開始し10歳ごろまでに視力が改善しないと、その後の視力の回復が厳しいようですが、私は中学校3年のころには、裸眼視力で左1.5、右1.2までに改善しました。私自身は眼鏡を外すのが恥ずかしいと思っていて、ずっと眼鏡をかけていたのが結果的によかったのでしょうか。ただ頻繁に眼鏡を壊して親に迷惑をかけました。

その後はずっと裸眼で生活していましたが、このごろ文字がぼやけて見えづらくなり…残念ながら老眼デビューでした。今は老眼鏡が手放せません。PC画面を見ない日はないので、文字がぼやけると仕事になりません。自宅でもあちこちに老眼鏡を置いています。今年49歳でまだまだ若いと思っていましたが、歳にはかなわないですね。群馬県出身の妻の実家から送られてくるブルーベリーを毎年待ちわびています。眼は大切にしたいものです。

[次回は、西都市の小田 竜先生をお願いします]

内視鏡検査

宮崎市 あきづきクリニックMJ あき づき えい じ
秋 月 英 治

今年4月から内視鏡検査にAIシステムを導入しました。AIシステムは病変の拾い上げと質的診断の補助を手助けするもので、検査自体は今までと同様です。上部内視鏡検査で病変の見逃しを減らし、下部内視鏡検査ではポリープ切除の適応を決める手助けになると感じています。早いもので、私が内視鏡検査を始めてから30年以上の月日が経過しました。当時は覗きの内視鏡と電子スコープが半々の時代で、画像は内視鏡にカメラを取り付けて撮影していました。今は何枚でも画像を残せますが、当時はフィルムの時代でしたので、1人の検査は22枚程度の写真に収めなければなりませんでした。今は拡大内視鏡、特殊光による観察で、肉眼的にある程度の癌は診断が可能となりましたが、開業医の立場からすると、患者さんに説明するうえで生検なしで済ますのは、いろいろな意味で難しいと感じています。1回の内視鏡検査後に毎回洗浄、消毒をするのは、現在では常識ですが、20年前までは用手的な水洗いのみで、最終検査後に洗浄装置で洗浄していました。上部内視鏡検査後に急性胃粘膜病変で受診する患者さんが時々いましたが、内視鏡が消毒されていないことでピロリ感染したことが原因であったと思います。今後内視鏡検査以外にも新しい機械が出てきて、診断学も進歩していくと思います。自分をアップデートして日常診療に取り組んでいきたいと思っています。

[次回は、高千穂町の興梠 知子先生をお願いします]

叙勲・祝賀

旭日双光章

はま だ まさ お
濱 田 政 雄 先生（宮 崎）

令和5年11月3日、保健衛生功労により旭日双光章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



濱田 先生

瑞宝双光章

お の たけ み
小 野 武 己 先生（宮 崎）

令和5年11月3日、学校保健功労により瑞宝双光章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



小野 先生

褒章・祝賀

藍 綬 褒 章

たけ うち こう ぞう
竹 内 康 三 先生（都 城）

令和5年11月3日，保健衛生功績により藍綬褒章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



竹内 先生



表彰・祝賀

国民健康保険事業功勞により国民健康保険中央会表彰

よつ もと しげる
四 元 茂 先生（宮 崎）

令和5年8月29日，国民健康保険事業に関する功勞により国民健康保険中央会表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



四元 先生

精神保健福祉事業功勞により宮崎県知事表彰

しゅ どう けん じ
首 藤 謙 二 先生（宮 崎）

令和5年10月14日，精神保健福祉事業功勞により宮崎県知事表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



首藤 先生

表彰・祝賀

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

まつ お たけ し
松 尾 剛 志 先生（宮 崎）

令和5年10月20日、国民健康保険に関する功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



松尾 先生

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

し し め けんいちろう
獅子目 賢一郎 先生（宮 崎）
おか むら ひろ こ
岡 村 公 子 先生（延 岡）

令和5年10月26日、学校保健功労により文部科学大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



獅子目 先生



岡村 先生

表彰・祝賀

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰

たか ぎ じゅん いち
高 木 純 一 先生（宮 崎）

令和5年10月27日、社会保険診療報酬支払基金に関する功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



高木 先生

精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰

あり た かず のぶ
有 田 一 信 先生（都 城）

令和5年10月27日、精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



有田 先生

表彰・祝賀

日本医師会優功賞

かね	まる	よし	まさ	
金	丸	吉	昌	先生（日 向）
みね	まつ	とし	お	
峰	松	俊	夫	先生（南那珂）

令和5年11月1日，日本医師会優功賞（在任10年日本医師会委員会委員）をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



金丸 先生



峰松 先生



メディアの目



「南海トラフ巨大地震」 災害報道への対応と備え

テレビ宮崎 コンテンツプロデュース局報道部長

てら だ けん こと
寺 田 健 吾

今後30年以内に70%から80%の確率で発生する恐れがある南海トラフ巨大地震。宮崎県内は最大震度7の揺れに見まれ、沿岸部では最短14分で最大17メートルの津波が押し寄せるとされています。宮崎県の想定では、地震の揺れと津波による死者はおよそ1万5,000人。この巨大地震に対し私たちテレビ宮崎は報道機関として、県民の命を守るために何ができるのか、日々対応と備えを迫られています。

2011年に発生した東日本大震災。当時、報道記者だった私も系列局（フジテレビ・日本テレビ・テレビ朝日）の応援取材班として被災地に入りました。そこで見た津波による被害、避難した人たちの声、そして福島第一原子力発電所の事故、被災地の現状は当時テレビで伝えられていた以上の衝撃を受けるとともに、命を守るための災害報道についてあらためて考えさせられることになりました。

今年9月、22年ぶりに宮崎市で行われた「マスコミ倫理懇談会全国大会」。全国のテレビ局や新聞社などからオンラインを含めおよそ300人が参加し、マスメディアのさまざまな課題について議論を深めました。この大会の中でも「南海トラフ巨大地震への備えと報道」という分科会が設けられ、テレビ宮崎を含めマスコミ

各社が参加するなど災害報道の対応について学びました。その中で私たちが注目したのが東京大学大学院の客員教授で防災行動学が専門の松尾一郎さんが提唱する「タイムライン」の作成です。タイムラインとは、災害時に命を守るため、「いつ」「何を」「誰が」やるべきか、あらかじめ時系列でまとめた防災行動計画のことです。

テレビ宮崎では現在これと同様に発災直後、誰がどのような行動をとり、何をすることで災害報道を続けていくのかタイムラインを作成し、日々発災を想定した訓練を続けています。テレビ放送を続けるにはさまざまなスタッフが関わっていて、その業務内容もさまざまです。タイムラインを作成することでそれぞれのスタッフが発災後、どの役割を担い、どんな行動をすればよいのかが明確になります。また災害はいつ起きるかもわかりません。日中スタッフがいない場合であれば即座に対応できますが、夜間や休日などスタッフのいない時間にどう行動すればよいのか、その辺りも含めて行動計画を立てています。平時の今だからこそやらないといけない備えと心構えが求められています。

このタイムライン、今では自治体や職場などでも広まりを見せています。ぜひ、日頃からの備えの一つとして活用を検討してみてください。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第27回 医療機関の敷地内で起きた事故について

**Q.**

駐車場での患者の自損事故により当院駐車場が破損しました。事故の目撃者はいたものの、当該患者から申告されない例がありました。自己申告されない方に問い詰めることがためられ、当方の保険で修理しましたが、本来ならこのようなケースではどのように対応すべきでしょうか。

また、追突により破損した車寄せの壁を全面修繕したケースで、事故当時に相手保険会社から修理代金の支払を受けましたが、その後2年経過し、追突の影響が局所だけでなくその天井部分にも大きく力がかかっていることが判明しました。このような場合、事故当事者や保険会社へあらためて請求することは可能でしょうか。

まず、駐車場で発生した事故は、物損事故に該当しますので、事故の存在を確認した段階で警察に連絡して事故処理をしてもらうことが重要です。そして、駐車場を破損させる事故の場合、発生した損害について加害者がすべて賠償すべき義務を負うところ、その賠償を請求するためには加害者を特定する必要があります。

しかし、警察も加害者を特定することには限界があり、加害者を特定する証拠がなんら存在しない場合、特定することが不可能という事例も多く存在します。そのため、事故が生じた場合の加害者を特定する手段として、駐車場に防犯カメラを設置することは有効です。

本件の場合、目撃者がいるとのことですので、目撃者の話を確認したうえで当該患者に事実関係の確認を行い、もし当該人物が事故を起こしたことを認める場合には修理費用などの請求を行う対応がよいでしょう。

後段のご質問ですが、残念ながら事故当事者および保険会社への請求はいずれも困難と思われます。なぜなら、修理代金の支払を受けるにあたり免責証書または示談書という書面を取り交わすことが多いですが、これは法的に示談を意味し、「当該賠償金の支払によって、事故の賠償はすべて完了した」ことを相互に確認する内容となっています。そのため、当該免責証書を取り交わした後に、追加の請求はできないのが大原則です（人身損害の場合には、一部例外もあります）。また、事故から長期間が経過した場合、その損傷が交通事故によって生じたという因果関係の証明も困難となることが多いです。

したがって、もし交通事故により何かしら損傷を受けた場合には、その内容で本当に示談してよいのか、他に損害がないのかを慎重に検討したうえで、免責証書などの書面を取り交わすことが重要です。もしご不安な場合には、書面を取り交わす前に一度弁護士に相談して内容の確認をしてもらうことが好ましいでしょう。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士 高山 桂)

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～10月～

令和5年10月2日～令和5年10月29日（第40週～第43週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核12例（男性5例・女性7例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症3例：都城（2例），宮崎市（1例）保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳，5～9歳及び40歳代で，1例は無症状病原体保有者であった。もう2例の主な症状として腹痛，水様性下痢，血便，嘔吐，鼻水がみられた。原因菌はO26（VT1），O157（VT1VT2），O20（VT2）であった。

4類：○日本紅斑熱2例：宮崎市，小林保健所管内から報告があった。年齢は50歳代と90歳代で，1例にダニの刺し口があった。主な症状として発熱，発疹，DIC，肝機能異常，筋肉痛がみられた。

○レプトスピラ症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として発熱，筋肉痛，結膜充血，黄疸，腎不全がみられた。

5類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として尿路感染症がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で，主な症状として菌血症がみられた。ワクチン接種歴はなかった。

○梅毒12例（男性7例・女性5例）：宮崎市（6例），都城（4例），延岡（2例）保健所管内から報告があった。病型別報告数は【表3】，年齢別報告数は【表4】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹，扁桃周囲膿瘍がみられた。

○播種性クリプトコックス症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は90歳代で，主な症状として頭痛，発熱，胸部異常陰影，真菌血症がみられた。

○百日咳1例：日南保健所管内から報告があった。10歳代の女性で，主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，白血球数増多がみられた。ワクチン接種歴は有りであった。

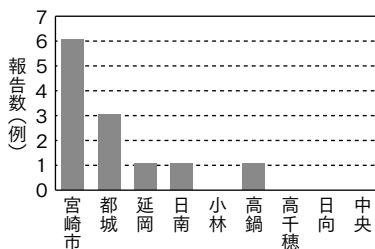


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	4
その他の結核(骨・関節結核, 結核性椎体炎)	2
無症状病原体保有者	6

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
40歳代	3
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	1
80歳代	6

表3 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	5
早期顕症梅毒Ⅱ期	4
無症状病原体保有者	3

表4 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	1
20歳代	8
40歳代	2
50歳代	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は5,614人（定点あたり124.4）で，前月の77%，例年（新型コロナウイルス感染症は除く）の261%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で，減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症，RSウイルス感染症，水痘及び手足口病であった。

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
細菌	EAggEC (O126:HUT)	1
	EPEC (O20:H6)	1
	EPEC (OUT:H21)	1
	Salmonella Thompson (O7:k:1,5)	2
	Salmonella Alachua (O35:z4,z23:-)	1
	Salmonella Infantis (O7: r :1,5)	1
	Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	1
	Salmonella Corvallis (O8:z4,z23:-)	1
	Influenza virus AH1pdm09	1
ウイルス	Human metapneumovirus	1

また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

インフルエンザの報告数は2,784人（48.0）で前月の約1.1倍であった（例年値0.00）。延岡（100.9）、中央（62.5）、高鍋（59.2）保健所からの報告が多く、15歳未満が全体の約8割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は538人（14.9）で前月の約1.5倍、例年の約3.5倍であった。都城（29.7）、延岡（19.3）、宮崎市（15.4）保健所からの報告が多く、4歳から8歳が全体の約6割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向〈2023年10月〉

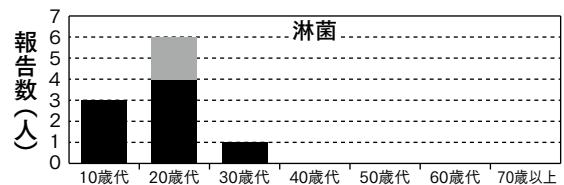
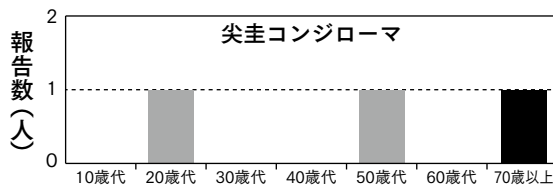
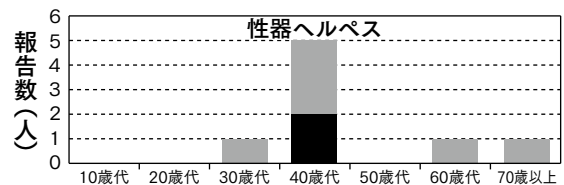
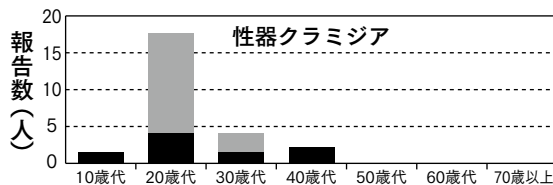
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は46人（3.5）で、前月比107%と増加した。また、昨年10月（2.7）の約1.3倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数25人（1.9）で、前月及び昨年10月の約1.1倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。（男性8人・女性17人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人（0.62）で、前月の0.8倍、昨年10月の1.6倍であった。（男性2人・女性6人）
- 尖圭コンジローマ：報告数3人（0.23）で、前月の1.5倍であった。（昨年10月報告なし、男性1人・女性2人）
- 淋菌感染症：報告数10人（0.77）で、前月の約1.1倍、昨年10月の約1.4倍であった。（男性8人・女性2人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は12人（1.7）で、前月比57%と減少した。また、昨年10月（4.4）の約0.4倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数12人（1.7）で、前月の約0.6倍、昨年10月の約0.4倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2023年10月		2023年9月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	2,784	48.0	2,605	44.9	★
新型コロナウイルス※1	801	13.8	3,385	58.4	
RSウイルス感染症	27	0.8	96	2.7	
咽頭結膜熱	253	7.0	82	2.3	★
溶レン菌咽頭炎※2	538	14.9	367	10.2	★
感染性胃腸炎	650	18.1	694	19.3	★
水痘	12	0.3	22	0.6	
手足口病	390	10.8	535	14.9	
伝染性紅斑	3	0.1	0	0.0	
突発性発しん	59	1.6	64	1.8	
ヘルパンギーナ	45	1.3	49	1.4	
流行性耳下腺炎	7	0.2	6	0.2	★
急性出血性結膜炎	1	0.2	0	0.0	
流行性角結膜炎	44	7.3	24	4.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	1	0.1	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各郡市医師会だより

南 那 珂 医 師 会

当会は、台風などの災害時を除き年中無休で夜間急病センター（19時～22時）と休日在宅当番を輪番で会員に出務をお願いしています。

年末この時期に事務局担当職員が次年度の出務年間スケジュールを年末年始とGWは別ローテで作成しますが、一定期間内に出務が過密にならないようにしたり、休日在宅当番と夜間急病センター勤務が同一日になることを嫌う先生と逆にまとめて出務したいという先生がいたり等々、配慮すべき事項が多く、担当事務員を悩ませている状況です。基本的に作成前の要望は受け付けずに、組みあがった勤務表において不都合があれば個人的に交替できる先生と交渉してもらうことにしています。

担当事務員の労力軽減のため、勤務割付ソフトプログラム作成を知人に依頼しましたが、できたソフトは使い勝手が悪く、満足できるものとはなかったようで、今回も目視による調整作業が必要となりました。頑張ってください。

他の郡市医師会では勤務割りなどの作成時、どのようにしているのか、上手い方法があればご教示いただきたく存じます。

当会ではここ数年、廃業などで会員数が減少しており、休日在宅当番や夜間急病センターに協力いただいている先生方の出務頻度が増加し、ご負担をおかけしますが、公立病院の救急部門の負担軽減と住民の健康管理サービスに寄与する事業であることをご理解いただき、これからもよろしくお願いいたします。

（中村 彰伸）

宮 崎 市 郡 医 師 会

令和5年度より、宮崎市内の50名以上の職員がいる小学校と高等学校の一部に、産業医が配置されることとなりました。宮崎市郡医師会員の産業医が、学校という職場における主に教職員の健康管理、メンタルヘルスに関するサポートを行うこととなります。とかく「先生」と呼ばれる人たちは、指導することには長けていますが、人に相談することが苦手な人が多いと思われます。かねてから教職員の方たちのメンタルヘルスに対する要望は多かったのですが、ここにきてようやくその第一歩が踏み出されたと思います。

（中村 究）

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

昨年6月から訪問看護ステーションの所長をさせてもらっています。それまでは、往診を少ししていただけで在宅医療に対しあまり関心はもっていませんでした。1年経って在宅医療の大切さやそれを支える訪問看護師の重要性を身にしみて感じています。ただ、九州地区共同利用施設連絡協議会でも人員不足で閉鎖を余儀なくされた施設もあり、どの地域でも不足しているとのことでした。今後ますます在宅医療の需要は増加すると思われ、人員の確保が最重要課題と思われます。

（濱田 圭一）

延岡市医師会

再び延岡看護専門学校から報告です。令和4年度末コロナ禍の中、70年の歴史を経て閑かに准看護課程が閉校しました。その卒業生が令和5年度専門課程に同じく最後の入学生となりました。令和6年度レギュラーコース開校に書類提出、講師確保、奨学金制度創設、地域アナウンスなどに取り組み、また延岡市からも看護師等就職準備支援金貸与制度を創設していただきました。難題が次々で、その都度知恵を出し合って対処中です。8・9月に推薦入試、前期一般入試を行い、優秀な受験生に手応えを感じながらも、受験者数が予想に届かず、後期一般入試、二次募集など模索中です。途中経過でした。

(金井 一男)

日向市東臼杵郡医師会

当地域では9月20日より新型コロナワクチンが再開され、10月2日よりインフルエンザワクチンも開始されました。ワクチン接種を行いながら、発熱外来のため別室で診察を行い、検査とともに患者さんへ新型コロナやインフルエンザですと説明し、再度、診察室にもどりワクチンを接種するという毎日です。新型コロナ、インフルエンザ両方ともに症状がない方もいるので感染症にかかっている患者さんにワクチン接種をしているのではないかと違和感を覚える今日このごろです。

(吉森 建一)

児湯医師会

医療のDX化のため導入されたマイナ保険証ではトラブルが後を絶たず、8月の社保審・医療保険部会では「マイナ保険証＋紙ベースの資格情報」のセット運用の議論も行われたとのこと。DX化による利便性の追求は諸刃の剣である。東日本大震災、ランサムウェアによる病院の機能停止、医業ではないが先日銀行間決済システム障害など、ひとたび何事が起こればたちどころに機能不全につながる脆弱性も忘れてはならない。拙速にDX化を進めることなく柔軟に既存のシステムとの併用も必要ではなからうか。

(糸井 仁)

西都市西児湯医師会

コロナ（コミナティ RTU）やインフルエンザのワクチン接種が始まりましたが、コロナウイルスやA型インフルエンザの感染者は出ていません。感染症との戦いはいつ終わるかわからないため、十分気をつけ、頑張っていこうとスタッフとも話をしています。西都市長・西都児湯医療センター・当医師会との関係は、まだ修復できていませんが、西都市と行う事業については、以前会長が報告した西都市STOP AT ONE事業（骨粗鬆症）を、11月から開始します。また、特定健診結果を活用した西都市独自の調査票を作成し、地域住民の健康増進に資するよう努めたいと思います。

(上野 尚美)

西諸医師会

今年は、5月には新型コロナウイルス感染症が5類感染症となりましたが、我が西諸医師会におきましては、昭和34年の開校以来64年続いてまいりました小林准看護学校が閉校になった年にもなりました。私自身が同校と直接深く関わることはありませんでしたが、諸先輩方が日々の医師業務を行いながら、校長を始めとする講師などの業務にも携わられていたことは、尊敬の念に堪えません。これまでの諸先輩やスタッフのご尽力があって、西諸医師会の歴史がつくられていることをあらためて感じております。同校の閉校にともないまして、老朽化した西諸医師会本館の解体作業も終了しました。新しい建物は医師会本館のみにはなりますが、64年の学校の歴史もしっかりと受け継がれていくことと思います。

(堀 英昭)

西臼杵郡医師会

5月にコロナが感染症5類に引き下げられ、観光地である高千穂にも国内外から多くの観光客が訪れている。お祭りなどのイベントも以前のように開催され、賑わいをみせている。それにともない、インフルエンザ、コロナ感染者もやはり増加している。インフルエンザは低年齢層に多くみられ、学級閉鎖も出ている。ワクチン接種は以前は11月以降が多かったが、今年は高齢者を中心に10月初旬から多くみられた。旅行やイベントを楽しみつつ、ワクチン、うがい手洗いなどの感染予防は続けていきたいものである。

(古賀 志朗)

宮崎大学医学部だより

地域医療・総合診療医学講座



よしむら まなぶ
吉村 学 教授

過去3年あまりの当講座の動きについて紹介したい。最も大きな動きは令和2年から都農町寄付講座が始まり、指導医1名、専攻医1名を含む3人体制で都農町国保病院

総合診療科を新規にスタートしたことである。地域包括ケアの拠点、医学生・研修医・専攻医の教育、地域医療の研究を行う体制が整った。COVID-19のパンデミックに対する児湯地域拠点として病院職員や地域関係者と協力しながら全力で対応して大きな実績を残した。また医学生が12週間にわたり都農町に滞在して学ぶ長期滞在型地域医療実習（Longitudinal Integrated Clerkship：LIC）も毎年3人受け入れ、これまでに9名が修了。通常の実習の医学生と比べて高い臨床能力が得られたことについて本年10月に富山大で開催されたLICサミットで報告、他大学から注目を集めた。

令和3年から県立宮崎病院総合診療科に指導医1名、専攻医1～2名を含む3名を配置し、救命救急科や他の診療科との連携協働が進み、入院患者対応やコンサルテーションなど大きな成果をあげている。また初期研修医の選択ローテーションも増加して彼らに対する教育活動も活発になっている。専攻医教育は県内の4つのプログラム（都農・古賀総合・宮崎生協・県立宮崎）が協力体制を強化した形でALL MIYAZAKI総合診療プログラムとして再スタートしている。メンター制度の導入やZoomを活用した定例勉強会、レジデントデイ、四季セ

ミナーの開催など教育の質と量の充実を図っている。古賀総合病院と宮崎生協病院での研修ローテーションも稼働し始めておりまさにオール宮崎の体制で育成が進んでいる。指導医だけでなく登録病院、事務関係者の大きな協力に感謝申し上げたい。おかげさまで毎年2～4名前後の専攻医を獲得できるようになっている。特に自治医大卒業医師で当プログラムを選択しながら、へき地勤務を並行してキャリアを選択されている若手医師の増加はとても心強く嬉しく思っている。県立延岡病院との連携強化を進める話もあり、県北部および入郷地域のへき地支援と連動する形で今後も努力していきたい。また高齢者だけでなく医療的ケア児の在宅医療に特化したNPO法人が運営するみつばち診療所に令和3年10月から医師を派遣し、宮崎東諸県、児湯医療圏の在宅医療を展開、医学生教育も担当してもらっている。本年4月には離島診療の経験がある医師1名をさらに配置したところである。大学が指定管理者として運営している宮崎市立田野病院では総合診療医として外来・在宅・入院ケアを担当。合わせて4、5年生の臨床教育を2週間ずつ通年で提供している。近隣の開業医の先生方や訪問看護ステーションにもご指導をいただいておりますこの場を借りてお礼申し上げたい。一方で、県立日南病院に設置していた地域総合医育成・日南サテライトセンターには今年度から医師を配置できておらず、大変申し訳なく思っている。海外交流はスロベニアのリュブリアナ大医学部家庭医療学講座との間で6週間の実習が2022年春から始まり現地で宮崎大医学生が高い評価を受けている。本年3月には准教授のVesna医師が来日されて講義や現場での指導などを行った。新たな教育交流基金の獲得もできており今後の交流が楽しみである。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(内科医会)

ひが としのぶ
比嘉 利信 会長

本会は、医道の高揚・学術の研鑽・医業経営の改善、更には会員相互の親睦を目的に昭和37年に発足し、県医師会と協力して、日本内科学会認定内科専門医の更新単位が取得可能な講座の開催、学術講演会や

医療保険に関する活動などを行っています。令和5年11月現在の会員数は409名で、内科を専門とする先生のみならず外科・小児科など他科の先生方も在籍しています。

また、内科医会の全国組織として日本臨床内科医会（日臨内）があります。臨床医のために全国的に幅広く活動しており、例えば、医療保険・介護保険に関しては、診療報酬の問題点を浮き彫りにして会員に情報提供する一方で、内保連や中医協に提言し、これまで多くの提言が診療報酬改定に取り入れられています。県内科医会に入会されている先生で、日臨内に加入されている先生は約290名と多数います。

日臨内や地区内科医会は、直接現在の診療に役立つ内容を重視していますので、我々地方で活躍する医師にも非常に有用であると思いますが、宮崎県で、ある程度の日臨内会員数がなければ、なかなか宮崎県の会員の意見が大きな声として中央に通じません。日臨内の会員数は、2017年に15,000人の会員数であったものが2023年には12,817名（約85%）まで減少し、長期的漸減傾向が続いています。その中で、宮崎県は対2017年比較で95.6%と九州各県では福岡県（同97.4%）に次いで2番目に低い減少率です。しかし県内全内科診療所数570軒のうち日臨内入会率は47.5%に留まっています。是非県内科医会と同時に、日臨内にも入会していただ

きますようお願い申し上げます。年会費は宮崎県内科医会（A会員 18,000円、B会員 7,200円）、日本臨床内科医会は一律年会費8,000円となっています。

コロナ禍にあって、Web形式の情報伝達が大分浸透してきました。そこでホームページのリニューアルにあたり、会員の先生方にできるだけ新しい詳しい情報提供を随時お届けし、学術講演会や学会に簡単に申し込めるシステムの構築を目指しました。画面は、明るく明瞭で見やすい表示とし、約1年かけて準備してきました。ホームページでは、これまで発刊された県内科医会誌を第54号より掲載しています。また本会の活動をはじめ、リンクしている県医師会、日本内科学会、日臨内などの情報をそれぞれ入手、確認することができます。県内科医会が共催する学術講演会への参加申し込みは、ご自分のPC端末などから直接予約することが可能となりました。日臨内では「かかりつけ医のためのWeb講座」が毎月開催されており、会員の先生方ばかりでなく、会員外の先生方も無料でお気軽に聴講できます。会員の先生方には専門領域以外の知識を補充する機会となり、かかりつけ医としてのスキルをより高めていただくこと、同時に会員外の先生方には日臨内を知っていただき、日臨内の活動に興味を持っていただくことが目的です。なお会員の先生方は、会員専用の動画アーカイブ（オンデマンド）でこの講座をいつでも何回でも聴講できます。まだコロナ終息の道筋は見えませんが、ホームページをさらに充実させ、魅力あるものに工夫していきたいと思っています。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

（常任理事 玉置 昇）

－ 各種委員会 －

医学賞選考委員会

と き 令和5年10月31日(火)

ところ 県医師会館

嶋本常任理事の開会、小牧副会長の挨拶の後、比嘉委員長の進行により本年度の医学賞について協議した。

昨年発行された宮崎県医師会医学会誌第46巻第1号および第2号を対象とし、各専門分科医会からの推薦などを参考に討議した結果、「当科で初回治療を施行した大腸癌症例の医療機関受診動機別にみた予後の比較」(岩村威志先生第46巻第1号)の1論文を選考し、医学賞受賞候補論文として河野県医師会長に推薦することとなった。また、医学会誌掲載論文の質の担保と標準化を図るため、投稿論文の倫理審査に関する投稿規程の整備について意見交換を行った。



出席者－比嘉委員長、甲斐副委員長、

松尾・小牧・嶋本・市来・落合委員
牧野課長、渡邊係長

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書、研修会の案内など）

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し、事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。

まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

－ 各種委員会 －

医学会誌編集委員会

と き 令和5年9月4日(月)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

嶋本理事の司会により開会, 小牧副会長の挨拶の後, 甲斐委員長の進行で協議が行われた。

掲載論文14編からなる第47巻第2号のカテゴリの検討が行われ, 総説2編, 臨床研究3編, 診療2編, 症例3編, 地域医療2編, 論説1編, クリニカルカンファレンス1編と, 編集後記担当者を決定した。

第48巻第1号総説の執筆依頼については, 宮崎大学医学部附属病院 臨床腫瘍科 細川歩教授, 宮崎大学医学部 血液・血管先端医療学講座 鶴田敏博教授へ依頼することとなった。



出席者

県医師会館－甲斐委員長, 松尾副委員長,
中谷・黒木・黒岩・福留・山下・
河野・阿南・濱川・峰松委員
Web (Zoom)－久保・中馬・武田・菊池委員
市来担当理事
(県医)－小牧担当副会長, 嶋本主担当理事,
田畑担当理事, 牧野課長, 渡邊係長

お知らせ

年末・年始の休館について

県医師会館(医師会, 医師国保, 医師協同組合, 病院企業年金基金)は
年末・年始休業のため, 下記のとおり休館いたしますのでお知らせします。

期 間 令和5年12月29日(金)～令和6年1月3日(水)

緊急連絡先 総務課長 080-5259-8429

事務局長 090-9572-1385

第2回各郡市医師会長協議会

と き 令和5年10月24日(火)

ところ 県 医 師 会 館

1 開 会

市来常任理事の司会により開会し、報告・協議に入った。

2 報告および協議

1) 県医師会から

①10/17(火)都道府県医師会長会議について

河野会長から、会議のテーマである「トリプル改定」について、物価高騰や賃金上昇への対応、新型コロナへの対応をふまえた活発な討議が行われた後、日医執行部から、総論と各論をテーマごとにわけて回答があったことが報告された。また、松本会長（日医）から、医療現場の声を適切に医療政策に反映し、組織力に基づいた説得力ある提言を行っていくためにも、引き続き、組織強化に特段の協力をお願いしたいと要請があったことが報告された。

次に、診療報酬改定と予算成立までの流れ等の説明をし、郡市医師会に対し医師会の組織強化と国会議員に対する働きかけを要請した。

②10/17(火)日本医師連盟執行委員会について

吉田常任理事から、執行委員会報告の前に、日医連から依頼の「秋の経済対策及び診療報酬改定に向けての地元自民党国会議員に対する働きかけ」につ



いて説明があった。医療費の動向に関する財務省の主張と日医の反論の資料を基に、各郡市医師会でも地元選出国會議員への働きかけを要請した。続いて、日医連執行委員会については、議事に先立ち、内閣府特命担当大臣に就任された自見はなこ先生への花束贈呈が行われたことが報告された。議事については、「令和5年度日本医師連盟交付金について」、「日本医師連盟役員人事について」、「次期参議院議員比例代表選挙候補者公募スケジュールについて」が、原案どおり承認されたことが報告された。次期参議院議員比例代表選挙候補者の公募日程については、来年1月5日に公募受付が開始され1月中を目途に候補者が決定する。

最後に、日医連から自民党党员獲得について要請があったことをふまえ、各郡市医師連盟役員で未加入の先生方へ

の加入促進について協力依頼があった。

③医療機関（医療従事者）の安全対策について

荒木常任理事から、近年、医療機関を標的としたランサムウェアなどの身代金を要求するウイルスなどを利用したサイバー攻撃による被害が増加している状況をふまえ、医療機関の管理者が遵守すべき事項としてサイバーセキュリティ対策を位置付けるための省令改正が行われていることが説明され、厚労省から発出されているサイバー攻撃に対する注意喚起やサイバーセキュリティ対策の取組みおよび医療法に基づく立ち入り検査等について、説明があった。医療機関においては、サイバーセキュリティ対策チェックリストを活用して取組みを強化していただくよう依頼があった。

続いて、在宅医療での猟銃による殺人事件や精神科医療機関への放火事件などの医療機関において安全確保が問題となる重大事案が発生していることを受け情報交換を行った。西諸医師会の内村会長から、令和4年11月に小林警察署と締結された防犯連携協定等について説明があり、都城市北諸県郡医師会の田口会長からも、都城警察署と協定を締結したことが報告された。

2) 郡市医師会から

①宮崎大学全学連携健康寿命延伸プロジェクト みやざき健康キャラバン隊の活動について（宮崎大学医学部医師会）

帖佐会長から、宮崎県が目指している「健康寿命日本一」を目的に、大学が取り組んでいるプロジェクトで、「かくれ心房細動ゼロ作戦」や「自己検脈」等の紹介があった。

②その他

延岡市医師会の佐藤会長から、勤務医加入促進の好事例として、延岡市医師会会員と県立延岡病院の勤務医が親交を深めるため令和元年から始まっている「連携の集い」について紹介があった。

出席者

各郡市医師会長

高村（宮崎）・田口（都城）・佐藤（延岡）・
永友（児湯）・松本（西都）・
中村（南那珂）・内村（西諸）・
植松（西臼杵）・帖佐（宮大医）会長

県医師会等

河野会長、山村・小牧副会長、
荒木・市来・吉田・金丸・池井・石川・
高木・嶋本・赤須・大塚・吉見常任理事、
峰松・佐々木・玉置・上山・田畑・落合・
山中・河原・吉村理事、中山理事（医協）

事務局

竹崎局長、園山次長、久永・松本・
牧野・野尻課長、湯浅課長補佐
杉田医師国保組合事務長
小川医師協同組合事務長、大野・鳥井元課長

宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議

と き 令和5年10月30日(月)

ところ 県 医 師 会 館

荒木常任理事の進行により開会。はじめに、県医療事故調査支援団体連絡協議会の河野会長から、外部委員として医療機関に派遣され公平性、専門性に十分考慮した質の高い院内医療事故調査を実施していただいている各委員に対して謝辞を述べられた。続いて、県医師会医療事故調査支援委員会の比嘉委員長から、制度発足後の本県のこれまでの取組みについて報告があった。令和4年度までの支援実績として、49件の初期相談のうち38件が医療事故調査・支援センターへ発生報告され、30件については、院内医療事故調査が終了し、当該センターへ結果報告されていることが報告された。



た委員が就任することが報告され、新しく就任された宮崎大学医学部病理学講座教授の山下篤先生、県医師会医療法人部会長の赤須郁太郎先生、県歯科医師会常務理事の松永昌之先生から自己紹介があった。任期は、令和7年9月30日までの2年間。

1 報 告

1) 宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会の委員について

荒木常任理事から、本年9月末をもって任期満了である委員について、協議会設置要綱第4条による委員をもって構成することが報告され、新しく就任された県歯科医師会会長の上窪高志先生および県薬剤師会会長の野邊忠浩先生から自己紹介があった。任期は、令和7年9月30日までの2年間で、協議会会長は、同規定により、県医師会の河野会長が務めることが報告された。

2) 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会の委員について

荒木常任理事から、本年9月末をもって任期満了である委員について、委員会設置要綱第3条に基づき、県医師会会長が委嘱し

2 協 議

1) 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会の委員長互選等について

委員会設置要綱第3条の規定により、委員長は、引き続き、宮崎東病院名誉院長の比嘉利信先生が選出された。続いて、副委員長に、県立宮崎病院副院長の眞柴晃一先生、介護老人保健施設むつみ苑施設長の下菌孝司先生、はまだレディスクリニック院長の濱田政雄先生、県立延岡病院長の寺尾公成先生、都城医療センター院長の吉住秀之先生、宮崎大学医学部附属病院医療安全管理部教授の綾部貴典先生の6名が委員長から指名され承認された。綾部貴典先生は

今回初就任となる。

また、常任委員会の委員には、比嘉委員長、眞柴・下藺・濱田・寺尾・吉住・綾部副委員長、山村・小牧副会長、荒木・金丸常任理事が就任することが承認された。

3 意見交換

1) 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会の支援状況について

意見交換に先立ち、本委員会の支援状況について、比嘉委員長および吉住・眞柴副委員長、宮尾・中村委員から、直近の事例

を中心に進捗状況などの報告があった。また、医師法第21条の警察署への届出に関して、濱田副委員長から本常任委員会の見解について説明があった。

意見交換では、本県が全国と比較して発生報告件数が多い理由について、事例が発生した際や事例の対象かどうかの判断に迷った際に管理者が相談しやすい体制が構築されていることや、制度への理解が進んでいることが挙げられ、安心、安全な医療を提供するために、今後も医療の質と安全性の向上に寄与することを確認した。

出席者－県医療事故調査支援団体連絡協議会

県医師会長 河野会長
宮崎大学医学部長 菱川委員
県歯科医師会長 上窪委員
県薬剤師会長 野邊委員
県看護協会 中武委員
県助産師会長 森委員

県医師会医療事故調査支援委員会

宮崎東病院名誉院長 比嘉委員長（常任委員）
都城医療センター院長 吉住副委員長（常任委員）
県立宮崎病院副院長 眞柴副委員長（常任委員）
県立延岡病院長 寺尾副委員長（常任委員）
介護老人保健施設むつみ苑施設長 下藺副委員長（常任委員）
はまだレディスクリニック院長 濱田副委員長（常任委員）
宮崎大学医学部附属病院長 帖佐委員
宮崎大学医学部附属病院医療安全管理部教授 綾部委員（常任委員）
宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野教授 山下委員
宮崎大学医学部社会医学講座法医学分野教授 湯川委員
国立病院機構宮崎病院長 宮尾委員
県立日南病院副院長 市成委員
千代田病院長 中村委員

古賀総合病院長 今村委員
宮崎生協病院医療安全委員会委員長 山岡委員
潤和会記念病院長 濱川委員
宮崎江南病院長 白尾委員
県医師会医療法人部会長 赤須委員
県精神科病院協会名誉会長 高宮委員
県歯科医師会常務理事 松永委員
県薬剤師会副会長 本田委員
県看護協会常務理事 橋満委員
県助産師会副会長 田中委員
県臨床工学技士会医療機器安全管理委員会委員長 松岡委員
県医師会副会長 山村委員（常任委員）
” 小牧委員（常任委員）
県医師会常任理事 荒木委員（常任委員）
” 市来委員
” 金丸委員（常任委員）

事務局－園山次長，久永課長，湯淺課長補佐

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話 0985-22-5118

宮崎県医師会は支援団体として，県内の医療機関をサポートいたします。医療事故の判断に迷った時，また，医療事故と判断した時は，宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の8時30分から18時，土曜日8時30分から12時30分の時間帯は，県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。

時間外または日曜祝日などで県医師会が対応できない場合は，国が指定した東京の「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03-3434-1110）」にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第3章医療の安全の確保」に位置づけられており，6条の11において「病院等の管理者は，医療事故が発生した場合には，厚生労働省令で定めるところにより，速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）を行わなければならない」と規定されています。本制度は，医療の安全のための再発防止を目的とし，原因を調査するために，医療機関が自主的に医療事故を調査し，再発防止に取り組むことを基本としており，責任追及を目的としたものではありません。

九州医師会連合会第411回常任委員会

と き 令和5年10月14日(土)

ところ ホテルニュー長崎

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶

(長崎県医師会森崎会長)

3 報 告

1) 第123回九州医師会医学会分科会の出題並びに記念行事の参加申込状況について

(長崎)

分科会の一般演題および記念行事の参加申込状況などの報告が行われた。

4 協 議

1) 第412回常任委員会並びに第126回臨時委員総会(11月24日(金)長崎市)の開催について(長崎)

九州医師会連合会総会・医学会の前日、ホテルニュー長崎で開催することが承認された。

2) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会(11月25日(土)長崎市)における日本医師会に対する質問・要望事項について(長崎)

日医松本吉郎会長の「中央情勢報告」の中で、① 今回の新型コロナウイルス感染症の対応をふまえた今後の医療費の考え方(熊本県)、② 医療用医薬品の安定供給(福岡県)、③ 医療現場におけるサイバーセキュリティ対策(福岡県)、④ オンライン診療(福岡県)、⑤ 「トリプル改定」に対する質問・要望(沖縄県・鹿児島県)、⑥ 今後の新型コロナウイルス感染症対策(沖縄県)、⑦ 今後の

医師不足、偏在および看護師などの不足への対策(長崎県)に関する質問と要望への回答をお願いすることが承認された。

3) 第123回九州医師会連合会総会における宣言・決議(案)について(長崎)

事前に指摘されていた項目に加え、宣言の内容を充実させる意見などが出されたことから、九医連会長および副会長で変更案を作成し、あらためて調整することとなった。

4) 第8回九州ブロック災害医療研修会並びに九州医師会連合会救急・災害医療担当事連絡協議会(令和5年1月20日(土)・21日(日)長崎市)の開催について(長崎)

「災害医療概論」や「DHCoS(災害時病院対応と病院籠城支援)(仮)」に関する講義を行う研修会などを、ホテルニュー長崎で開催することが承認された。

5) 第413回常任委員会並びに第2回各種協議会(令和6年2月3日(土)長崎市)の開催について(長崎)

JR長崎駅隣の出島メッセ長崎で開催することが承認された。

5 その他

1) 第2回九州各県医師会勤務医担当事連絡協議会の開催等について

2) 令和6年のトリプル改定等について

6 閉 会

出席者-河野会長、竹崎事務局長

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

と き 令和5年11月3日(金・祝)
ところ ハイビスカスゴルフクラブ

毎年恒例の親善ゴルフ大会は、爽やかな秋晴れの下ハイビスカスゴルフクラブにおいて開催され、21名の先生方が熱戦を繰り広げました。

競技方法は、18ホールズストロークプレイ、ダブルペリア方式（同ネットの場合は年長者を上位）で、今大会も、来年5月に岐阜で開催される「第6回全国医師ゴルフ選手権大会（チャンピオン戦）」の出場を掛けた戦いとなりました。

団体戦は宮崎チームが優勝、個人戦は、年齢別にA・B・Cの3組に分けて行い、A：井上博先生（延岡）、B：棚田敏文先生（宮崎）、C：江夏剛先生（都城）がそれぞれ優勝され、総合優勝は、棚田敏文先生となりました。

また、「第6回全国医師ゴルフ選手権大会」には、江夏剛先生（都城）と福留真二先生（宮崎）が出場される予定です。

成績は以下のとおりです。

【団体戦】 (敬称略)

	郡市名	NET合計	各郡市 NET 上位 3 名					
優勝	宮崎	214.2	棚田 敏文	70.8	福留 真二	71.0	阿久根広宜	72.4
準優勝	都城	216.6	江夏 剛	70.8	瀬之口洋史	71.0	長倉 穂積	74.8
3 位	延岡	221.0	井上 博	73.2	大崎 泰	73.8	公文 崇詞	74.0

【個人戦】

		氏 名	OUT	IN	GROSS	HD	NET	備 考
A	優 勝	井 上 博	43	41	84	10.8	73.2	
	準優勝	小 牧 斎	52	51	103	26.4	76.6	
	3 位	田 村 正 三	47	48	95	18.0	77.0	
B	優 勝	棚 田 敏 文	36	36	72	1.2	70.8	総合優勝
	準優勝	阿久根 広 宣	36	40	76	3.6	72.4	
	3 位	大 崎 泰	44	37	81	7.2	73.8	
C	優 勝	江 夏 剛	37	35	72	1.2	70.8	
	準優勝	瀬之口 洋 史	40	43	83	12.0	71.0	
	3 位	福 留 真 二	40	37	77	6.0	71.0	
BG賞※1		棚 田 敏 文	72					
NP賞※2		阿久根広宣, 井上博, 大崎泰, 瀬之口洋史, 棚田敏文, 福留真二 (2)						

※1. 江夏剛先生も同スコアであったが年長者上位のため棚田先生が獲得
※2. NP賞は五十音順



団体戦優勝

宮崎チーム



写真は左から順に、
阿久根広宜先生、棚田敏文先生、福留真二先生

暑いぐらいの晴天の下、和やかな雰囲気と同伴者にも恵まれ、素晴らしいゴルフ大会でした。パープレーが2人もいるという、普通のゴルフコンペではあり得ないハイレベルな戦いでした。みなさん忙しい診療の合間に練習に励み、このレベルに達していることに驚きです。棚田先生と阿久根先生のスコアに引っ張られ、なんとか粘って団体優勝を勝ち取ることができました。両先生のご厚意により、全国大会には私と高校同級生の江夏先生と2人で出場させていただきます。昨年の小島・棚田最強ペアには大きく劣りますが、少しでもよい成績を残せるよう頑張ってきます！

先生方、運営の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。（福留 真二）

総合優勝

宮崎市郡医師会 棚田 敏文 先生



写真は左から順に、
棚田敏文先生、小牧 斎先生

晴天の中、楽しい同伴者とラウンドできました。阿久根先生、大崎先生、お世話になりました。4バーディはできすぎです。同スコアの江夏先生、すみません、年齢勝ちさせていただきました。申し訳ないです。久しぶりにお会いできた先生もいらして、有意義な一日になりました。来年も参加したいです。参加された先生方、事務局の皆様、お世話になりました。

この場をお借りして、今年の5月に開催された、第5回全国医師ゴルフ選手権大会の報告をさせていただきます。小島先生と参加して、2年連続の団体準優勝でした。個人戦でも3位に入ることができました。さすがに、4回も行きましたので、今回を最後にしたいと思います。

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a, e	b	b	c	d, e	e	b, e	d	b	d

日医インターネットニュースから

■鎮咳薬・去痰薬、「安定供給」に協力を — 厚労相、製薬各社に直接要請 —

武見敬三厚生労働相は11月7日、新型コロナやインフルエンザの影響などで需要が高まっている鎮咳薬、去痰薬について、安定供給への協力を製造販売業者24社に要請した。

これまで厚生労働省は、24社のうち8社に増産を要請。年内は、鎮咳薬約1100万錠、去痰薬約1750万錠の増産が可能としていた。

しかし、武見厚労相は「それでも医薬品がまだ足りない、という声を頂戴している」と説明。今回、各社の社長らを厚労省に集め、安定供給への協力を求めた。

●「あらゆる手立てを講じる」

武見厚労相は、政府が2日に決定した経済対策で増産支援を盛り込んだことや、安定供給に支障が生じている医薬品への薬価上の対応を検討していることなどに言及。「国民に必要な医薬品を確実に届けられるように、あらゆる手立てを講じていく」と強調した。

各社に対しては、「現下の状況を承知の上で、増産をはじめとしたあらゆる手立てを講じていただくことをお願いしたい」と述べた。

(令和5年11月10日)

■24年度改定、最低「3.3%」の賃上げを — 三師会が要望 —

日医、日本歯科医師会、日本薬剤師会の三師会は11月10日、合同会見を開き、2024年度診療報酬改定に向けた要望を発表した。今年の人事院勧告を踏まえ、「最低限3.3%に匹敵する賃上げ」を主張。物価高騰や技術革新に対応するために「十分な原資が必要不可欠」としている。日医の松本吉郎会長はこの考えに基づき、「医療界が一体となって政府・与党に働きかけていく」と述べた。

●物価高騰、「30年近く類を見ない局面」

要望では、賃上げについて、「今年の春闘では平均賃上げ率3.58%、人事院勧告では3.3%の上昇が示されている」と説明。医療界でも他

産業との差を埋めるだけでなく、「さらに加速すると見込まれる来春の春闘に匹敵する対応が必要」と訴えた。

公定価格の引き上げを通じて、医療・介護就業者約900万人の賃上げをすれば、「わが国全体の賃金上昇と地方の成長の実現につながる」とした。

物価高騰に関しては「30年近く類を見ない局面を迎えている」とし、恒常的な対応の必要性を強調。公定価格で運営している医療機関・薬局では、物価上昇分を価格に転嫁できないとし、改定での対応を求めている。

●医療界「一体・一丸で」

松本会長は、三師会で要望をまとめた意義を説明。「24年度改定に向けた議論が本格的に動き始めており、医療界の中を分断するような動きもある。その中で医療界が一体・一丸となって、三師会がそろって改定に向かって歩んでいく強い思いだ」と話した。

●コロナ対応支援は「戦費」

日本歯科医師会の高橋英登会長は、財務省が24年度改定でマイナス改定を主張していることなどに言及。「それはないだろう、という（のが）実感。われわれの現場の感覚が分かっていない」と述べた。新型コロナ関連で医療機関に充てられた支援は「コロナと戦うための戦費だ」と表現。「医療界のための原資だという誤解をしてほしくない」とした。

●財務省の主張「理解に苦しむ」

日本薬剤師会の山本信夫会長は、財務省のマイナス改定の主張は「理解に苦しむ」とした。一部の大型薬局の経営状況に着目して、「調剤は高収益」と解釈することに懸念を表明。「極めて狭い視野で見たもの。大半がいわゆる中小企業である薬局は、ベースアップどころか人材確保に窮している状況だ」と語った。

(令和5年11月14日)

■かかりつけ報告、来年夏に取りまとめへ — 厚労省分科会が初会合 —

厚生労働省は11月15日、「かかりつけ医機能

が発揮される制度の施行に関する分科会」(座長＝永井良三・自治医科大学長)の初会合を開いた。かかりつけ医機能報告などに関する議論を、2024年夏にまとめる見通しを示した。

分科会は、「国民・患者に対するかかりつけ医機能をはじめとする医療情報の提供等に関する検討会」の下部組織。かかりつけ医機能報告、地域における協議の場、研修などを検討する。親組織も含めた議論を踏まえ、必要な省令改正や制度設計を行い、25年4月に施行する。

厚労省はこの日の分科会で、今後の議論のスケジュールを示した。次回以降、構成員によるプレゼンテーションや、有識者へのヒアリングを実施。その後、かかりつけ医機能などの各論に沿って議論し、24年夏に取りまとめる。

●「紹介受診重点医療機関」は対象か？

今村知明構成員(奈良県立医科大教授)は、紹介受診重点医療機関について、かかりつけ医機能報告の医療機関になり得るのか、整理すべきだと提言した。

厚労省は、かかりつけ医機能の定義は、「継続的な医療を要する者に対する発生頻度が高い疾患に係る診療その他の日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能」だとした。

その上で、過去の議論でも、紹介受診重点医療機関の診療科によっては、かかりつけ医機能を担う可能性が指摘されていると説明。実際に対象になるかは、「今後の分科会で議論してほしい」とした。

●「ほとんどの科が対象になり得る」

釜范敏構成員(日医常任理事)は「地域に必要な医療資源は、地域ごとに限りがある。地域の特性に合わせて制度を用意するのが大事」と述べた。

城守国斗構成員(日医常任理事)は、かかりつけ医機能の定義に言及し、「ほとんどの科が

対象になり得る」との認識を示した。

広い間口を想定して始めた方が、「ごく一部のため」のいびつな制度にならないと指摘。「地域を面で支えることを目指す制度にしてほしい」と強調した。

(令和5年11月17日)

■コロナ薬、妊娠可能女性への処方慎重に — 関連学会・団体 —

妊婦が禁忌となっている新型コロナウイルス感染症治療薬の投与後に妊娠が判明した事例が多数報告されているとして、日本感染症学会や日医などの関連学会・団体は11月14日、医療関係者に対し、妊娠可能な世代の女性への処方・調剤を慎重に判断するよう呼びかける合同声明文を発出した。

声明文は日本感染症学会、日本化学療法学会、日本産婦人科学会、日医、日本薬剤師会が連名で出した。新型コロナ治療薬のうち、塩野義製薬の「ゾコーバ」やMSDの「ラゲブリオ」などは動物実験で催奇形性が認められており、妊婦への投与が禁忌となっている。声明文では、これらの治療薬投与後に妊娠が判明した患者は「大きな不安を抱えて妊娠と向き合うこととなっている」と指摘。多くは問診や聞き取り、チェックリストを用いた確認で「問題なし」と判断された処方・調剤事例だといい、丁寧な説明や慎重な判断を求めた。

3学会は同日、妊娠可能な世代の女性向け合同声明文も発出した。問診や調剤前、チェックリスト使用時に「妊娠の可能性はない」と申告したとしても、内服前にもう一度直近数カ月間のことを思い出し、妊娠の可能性に思い当たる節がある場合は内服を控えるよう注意喚起した。

(令和5年11月17日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

医師国保組合だより

当組合のWebサイトをご利用ください

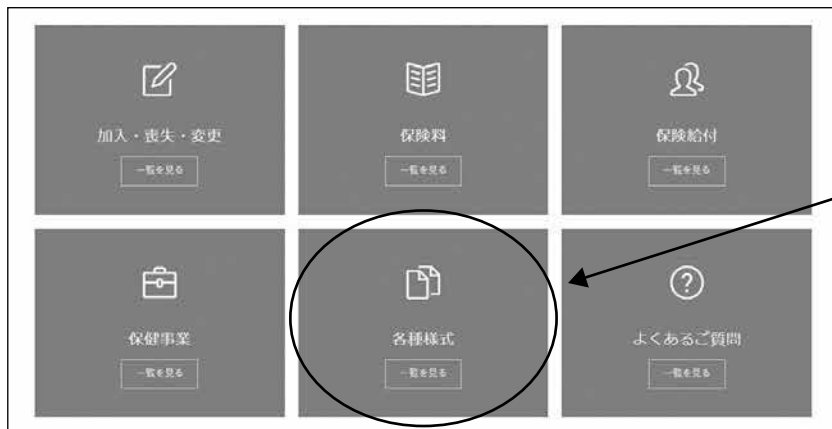
組合員の皆様方に利用しやすいWebサイトとなるよう、スマートフォンでの表示にも対応し、ご要望の多かったお問い合わせフォームを追加しました。



「宮崎県医師国保」で検索
または、
二次元バーコードから
読み取ってご利用ください。



【Webサイト二次元バーコード】



各種様式は、
こちらから簡単に
ダウンロードできます。

<医師国保組合へのご加入について>

会員の先生にとって、廉価な保険料で充実した保健事業を提供する医師国保組合への加入をご検討ください。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

事業所が法人化するなどの場合は、社会保険（健康保険と厚生年金）が強制適用となりますが、医師国保にすでに加入中の方は、年金事務所から健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができますので、Webサイトをご確認いただくか、当組合までお問い合わせください。

～保健事業のご案内～

1. 健康診断（特定健診）・特定保健指導は無料でご利用いただけます

健康診断（特定健診）

◆ 対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者（被保険者） ※配偶者は75歳の誕生日前日まで
上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方を含む）

◆ 日曜日健診について

宮崎市郡医師会病院健診センターにて日曜日の健診を実施しています。

ご予約は当組合へ（☎0985-22-6588）

Web申込もできます!⇒



年	月 日	健 診 (定員各30名)	オプション		
			胃内視鏡 検査 (定員各6名)	低線量ヘリカルCT 肺がん検診 (定員各8名)	マンモグラフィ 検査 (定員若干名)
令和6年	1月21日	△	×	×	×
	2月25日	○	×	×	○
	3月10日	○	×	×	○
	3月24日	○	×	×	○

(令和5年11月10日現在) ○：予約可, △：間もなく定員, ×：予約不可

◆ 自家健診について

健診を自院で実施しても当組合へ費用を請求することができますが、健康診断個人票（水色）の必須検査項目（★印の項目）は必ず実施してください。

ただし、組合員が自らに対して健診を行った場合（自己健診）は、特定健診の対象とはなりません。

特定保健指導

対象者には「特定保健指導利用券（無料）」をお送りします。利用券が届いた方は、ご案内に記載している実施機関にて保健指導を受けてください。

2. インフルエンザワクチン接種補助

◆ 対 象 者 被保険者全員並びに高齢組合員

◆ 補助金額 1人1回 2,000 円（高齢組合員は 1,000 円）

3. その他保健事業

詳細は、Web サイトまたは組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」をご覧ください。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助 | 4) 低線量ヘリカル CT 肺がん検診（無料） |
| 2) 脳ドックなどの補助 | 5) 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助 |
| 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助 | 6) 歯科健康診査（無料） |

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>



理事会日誌

令和5年10月3日(火) 第13回全理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について

①12/17(日) (都城) 第18回宮崎県作業療法学会名義後援について

→「作業療法と科学～社会に貢献できる作業療法の実現～」をテーマに開催される学会で名義後援をすることが承認された。

2. 11/24(金)・25(土) (長崎) 九州医師会連合会第412回常任委員会、第126回臨時委員総会並びに九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会の開催について

常任委員会の提案事項については、議題があれば事務局を経由して会長に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。各会議の出席者については取りまとめ済みであることが説明された。

3. 業務委託について

①令和5年度HTLV-1 (ヒトT細胞白血病ウイルス1型) 母子感染対策事業に係る業務の委託契約について

→HTLV-1の母子感染を減らすことを目的に、HTLV-1キャリアの実態調査や研修会等を実施する事業で、契約を締結することが承認された。

4. 12/2(土)令和5年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催について

「新たな潮流のなかで母体保護法指定医が取り組むべきこと」をテーマに開催される講習会で、嶋本常任理事と上山理事がWEB会議で出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 9月末日現在の会員数について

3. 9/28(木) (宮観ホテル) 医療事故調査支援委員会常任委員会について

4. 9/30(土) (県防災庁舎) 県大規模地震時医療活動訓練について

5. 9/30(土) (県医) かかりつけ医認知症対応力向上研修会について

6. 10/1(日) (県医) 人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会について

7. 10/2(月) (県医) 園医部会総会・研修会について

8. 9/27(水) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

9. 9/27(水) (県医) 県子宮頸がん予防 (HPV) ワクチン接種促進事業研修会について

10. 9/27(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

11. 県物価高騰対策緊急支援金の支給・申請について

12. 9/28(木) (県医) 健康スポーツ医学委員会について

13. 10/2(月) (県医) 健康教育委員会について

14. 9/30(土) (佐賀) 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議について

15. 9/30(土) (県医) 産業医研修会(前期)について

令和5年10月10日(火) 第7回常任理事協議会**医師会関係
(議決事項)**

1. R6.2/3(土)(小林市)日本医療マネジメント学会第16回宮崎県支部学術集会後援名義依頼について

「いざ本番 働き方改革 2024」をテーマに開催される学術集会で、名義後援を行うことが承認された。

2. 10/24(火)(県医)各都市医師会長協議会について

議題や役割分担について検討を行った。

3. 業務委託について

- ①令和5年度県主治医研修業務の委託契約について

→要介護認定等の重要な審査資料である主治医意見書の適切な記載方法等の研修を行う事業で、契約を締結することが承認された。

(報告事項)

1. 10/5(木)(県医)日医有床診療所委員会について
2. 10/5(木)(県医)「有床診療所の日」記念講演会事前打合せ会について
3. 10/6(金)(県防災庁舎)県がん対策審議会について
4. 10/4(水)(日医)日医地域医療対策委員会について
5. 10/5(木)(ガーデンベルズ宮崎)県腎臓病協議会創立50周年記念祝賀会について
6. 10/3(火)(宮観ホテル)宮崎大学と宮崎県医師会との懇談会について
7. 10/4(水)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について
8. 10/6(金)(日医)都道府県医師会母体保護担当理事連絡協議会について
9. 10/5(木)(宮大医学部)宮崎大学医学部医の倫理委員会について

**医師連盟関係
(議決事項)**

1. 11/18(土)(JA-AZM)選挙対策委員会の開催について

河野委員長が公務出張のため、代理出席を検討することとなった。

(報告事項)

1. 10/8(日)(県医)松下新平参議院議員への秋の経済対策、診療報酬改定要望

令和5年10月24日(火) 第14回全理事協議会**医師会関係
(議決事項)**

1. 会費減免申請について

医学部卒業5年目までの日医・県医会費減免1名の申請が承認された。

2. R6.3/2(土)・3(日)日本医師会医療情報システム協議会の開催について

「医療DXで何が変わるか!?～国民と医療者が笑顔になるために～」をテーマに医師会会員および事務職員を対象に開催される協議会で、荒木常任理事と嶋本常任理事の出席が承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

- ①11/3(金・祝)(県総合保健センター)アルコール健康障害対策一般市民公開セミナーの後援について

→アルコール健康障害対策に対する理解を深めるために開催される市民公開セミナーで、名義後援を行うことが承認された。

4. 11/14(火)(県医)県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会について

当日の進行方法や役割分担が確認された。また、県への要望書(案)を各担当役員で再確認し修正等ある場合は事務局を通して会長に申し出ることとなった。

5. 12/8(金)宮崎県感染症危機管理研修会・予

防接種従事者研修会について

県内の医療機関等職員及び行政職員を対象にした、予防接種に係る最新の知見、今後の新興感染症発生に備えた地域の医療体制の在り方に関する研修会で、県との共催で開催することと、本会が会員への周知とオンライン操作対応の協力をすることが承認された。

6. 「国民医療を守るための国民運動」の展開について

「持続可能な社会保障制度の確立に向け、適切な財源の確保を国民とともに政府に求める」ことを目的に行われる運動で、本県でも県地域医療・福祉推進協議会代表者会の開催等を通じて協力、対応することが承認された。

7. 12/4(月)(日医)「国民医療を守るための総決起大会」への参加依頼について

「国民医療を守るための国民運動」の一環として、国民医療推進協議会が主催し、日本医師会館で開催される総決起大会で、金丸常任理事と地域医療担当理事が出席することが承認された。

8. 11/18(土)(福岡)九州学校検診協議会第2回専門委員会について

学校検診について、心臓、腎臓、成長発育・小児生活習慣病、運動器の各検診部門に分かれ協議をする委員会で、高木常任理事、宮田純一先生、澤田浩武先生の出席が承認された。運動器部門は欠席をすることとなった。

9. 11/18(土)(福岡)九州各県医師会学校保健担当理事者会の開催について

河野会長と高木常任理事の出席が承認された。

10. 11/11(土)(日医)ハーバード大学T.H.Chan(T.H.チャン)公衆衛生大学院 武見国際保健プログラム設立40周年記念シンポジウムのご案内

「デジタルヘルス：地域医療にとっての機会と課題」をテーマに開催さえるシンポジウムで、嶋本常任理事が出席することが承認された。

11. 11/16(木)(九州厚生局宮崎事務所)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、小牧副会長を立会人として派遣することが承認された。

12. R6. 1/20(土)・21(日)(長崎)九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会並びに九州ブロック災害医療研修会の開催について

出席者について、救急災害医療担当理事で調整をすることが承認された。

13. 11・12月の行事予定について**14. その他**

①第123回九州医師会連合会総会における「宣言・決議(案)」について(再確認)
→宣言・決議の修正案が提示され、意見等がある場合は今週中に事務局を通して会長に申し出ることとした。

(報告事項)**1. 週間報告について****2. 10/14(土)(長崎)九医連常任委員会について****3. 10/17(火)(日医)日医理事会等について****4. 10/17(火)(日医)診療報酬改定に関する都道府県医師会長会議について****5. 10/17(火)(日医)都道府県医師会長会議について****6. 10/18(水)(支払基金)支払基金審査運営協議会について****7. 10/21(土)(福井)全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等について****8. 10/24(火)(ニューウェルシティ宮崎)みやざき愛の献血運動推進県民大会について****9. 10/11(水)・19(木)(県医)広報委員会について****10. 10/19(木)(日医)日医医療経営検討委員会**

について

11. 固定資産適正化（株）との業務委託について
 12. 10/11(水)（県総合保健センター）宮崎東諸
県地域医療構想調整会議について
 13. 10/12(木)（県防災庁舎）県循環器病対策推
進協議会について
 14. 10/14(土)（長崎）九医連各種協議会について
 15. 10/19(木)（県医）外国人患者対応に関する
研修会について
 16. 10/18(水)（県医）生活習慣病検診従事者研
修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）
について
 17. 10/19(木)（県防災庁舎）「特定行為に係る看
護師の研修制度」推進検討会について
 18. 10/13(金)（県医）在宅医療研修会企画小委
員会について
 19. 10/19(木)（宮崎市）社会保険医療担当者の
個別指導について
 20. 10/23(月)（県防災庁舎）県HPVワクチン接
種情報共有会、県麻しん・風しん対策推進
会議、県予防接種広域化検討会議について
 21. 10/16(月)（県医）労災診療費算定実務研修
会について
 22. 10/19(木)（県医）産業保健活動推進全国会
議について
 23. 10/19(木)（日医）日医予防接種・感染症危
機管理対策委員会について
 24. 10/20(金)（県医）県プライマリ・ケア研究
会学術広報委員会について
 25. 10/21(土)（県医）保育支援事業スキルアッ
プ研修会・全体顔合わせ会について
 26. 10/7(土)（青森）全国医師会勤務医部会連
絡協議会
 27. 10/14(土)（長崎）九州各県医師会勤務医担
当理事連絡協議会について
 28. 10/17(火)（第一宮銀ビル）県後期高齢者医
療広域連合療養費適正化研究会について
- 医師連盟関係
（報告事項）
1. 10/13(金)（宮崎空港）江藤拓衆議院議員及
び長峯誠参議院議員へ秋の経済対策、診療
報酬改定要望について
 2. 10/15(日)（宮観ホテル）武井俊輔衆議院議
員へ秋の経済対策、診療報酬改定要望につ
いて
 3. 10/15(日)（宮観ホテル）河野しゅんじ県政
報告会について
 4. 10/15(日)（都城市）古川禎久衆議院議員へ
秋の経済対策、診療報酬改定要望について
 5. 10/17(火)（日医）日医連執行委員会について

県 医 の 動 き

(11月)

1	県個人情報保護審議会（荒木常任理事） （日医）日医設立76周年記念式典並びに医学大会（金丸常任理事他） 県健康づくり推進協議会（山村副会長） 県感染症対策連携協議会（山村副会長他）
2	（日医）日医医療秘書認定試験委員会（池井常任理事） 県医療審議会医療計画部会（山村副会長他） 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会会長招宴（会長）
3	（文化の日） 県医親善ゴルフ大会
4	ICLS指導者養成ワークショップ （東京）全国医師協同組合連合会通常総会（吉田副理事長）
5	ACLS研修会
7	県感染症対策審議会（吉田常任理事） 第8回常任理事協議会（会長他）
8	県国民健康保険運営協議会（小牧副会長）
9	県自殺対策推進協議会（吉田常任理事） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議）（嶋本常任理事他）
10	医療現場のワークライフバランスセミナー（Web会議）（会長他）
11	（日医）ハーバード大学T.H.Chan公衆衛生大学院 武見国際保健プログラム設立40周年記念シンポジウム（嶋本常任理事） （大分）九州各県内科医会連絡協議会他（玉置理事） 県整形外科医会研修会
12	かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会（Web会議）（高木常任理事） 世界糖尿病デーin宮崎2023県民公開講座
13	広報委員会（荒木常任理事他） 医協会計監査（河野理事長他）
14	第15回全理事協議会（会長他） 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会（会長他）
15	支払基金審査運営協議会（会長）
16	日医2023年度防災訓練（災害時情報通信訓練）（Web会議）（吉見常任理事） 社会保険医療担当者の個別指導（小牧副会長） 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会（石川常任理事） 宮崎銀行との意見交換会（会長他）
17	日医医師会共同利用施設検討委員会（Web会議）（市来常任理事） 生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（Web会議・TV会議）（金丸常任理事）

18	産業医研修会（TV会議）（吉見常任理事） 日医未来医師会ビジョン委員会（Web会議）（大塚常任理事） （福岡）九州学校検診協議会専門委員会（高木常任理事他） （福岡）九州各県医師会学校保健担当理事者会（会長他） 宮大医学部附属病院救命救急センター開所10周年記念祝賀会（山村副会長）
19	イーレジフェアオンライン（Web会議）
20	宮大医学部附属病院医師研修管理委員会（金丸常任理事） 広報委員会（荒木常任理事他） 地域医療委員会（Web会議）（会長他）
21	日医監事会（Web会議）（会長） 診療報酬改定に関する都道府県医師会長会議（Web会議）（会長） 日医理事打合せ（Web会議）（会長） 日医理事会（Web会議）（会長） 医師会立看護学校担当理事連絡協議会（Web会議）
22	宮大経営協議会・学長選考・監察会議（会長） 県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防研修会（Web会議）（会長他）
24	日医公衆衛生委員会（Web会議）（峰松理事） （長崎）九医連常任委員会（会長） （長崎）九医連臨時委員総会（会長他） 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会（Web会議）（吉見常任理事）
25	（長崎）九医連委員・九州各県医師会役員合同協議会（会長他） （長崎）九州医師会総会・医学会（会長他） 県訪問看護ステーション連絡協議会九州ブロック会議 宮崎大学医学部附属病院研修ローテート等説明会（落合理事） （福岡）福岡医協創立50周年記念式典・祝賀会（吉田副理事長）
26	（長崎）九医学分科会・記念行事
27	県立病院事業評価委員会（会長） 介護保険委員会（Web会議）（山村副会長他） 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・学術大会実行委員会（Web会議）
28	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（嶋本常任理事） 医協理事会（河野理事長他） 医協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他） 第16回全理事協議会（Web会議）（会長他）
29	労災診療指導委員会（赤須常任理事他）
30	医師国保組合理事会（秦理事長他）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和5年11月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 7人

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	3	0	3
産 婦 人 科	1	0	1
検 診	2	0	2
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 94人

	合 計
令和5年度(4/1～10/2)	4
平成16年度から累計	94

3. 求人登録 99件 276人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	86	65	21	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	22	19	3	乳 腺 外 科	2	2	0
整 形 外 科	20	17	3	健 診	3	3	0
精 神 科	12	10	2	泌 尿 器 科	2	2	0
脳 神 経 外 科	2	2	0	産 婦 人 科	0	0	0
循 環 器 科	13	10	3	検 診	0	0	0
消 化 器 内 科	24	18	6	皮 膚 科	0	0	0
麻 酔 科	4	4	0	婦 人 科	1	1	0
眼 科	9	6	3	呼 吸 器 外 科	0	0	0
放 射 線 科	9	9	0	人 工 透 析	11	7	4
小 児 科	3	2	1	リ ウ マ チ 科	0	0	0
呼 吸 器 科	0	0	0	臨 床 病 理 科	0	0	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	0	0	0
総 合 診 療 科 ・ 内 科	11	7	4	診 療 科 目 不 問	5	2	3
脳 神 経 内 科	2	2	0	緩 和 ケ ア	0	0	0
呼 吸 器 内 科	11	7	4	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	6	4	2
リハビリテーション科	4	3	1	そ の 他	2	2	0
救 命 救 急 科	7	4	3	合 計	276	212	64

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,神内,リハ,整,循内	5	常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,消内,糖内,外,整,婦人	12	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外	1	常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	1	非常勤
230233	独)宮崎江南病院	宮崎市	呼内,総診,糖内	6	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内	2	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	一社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	一社) 都城健康サービスセンター	都城市	放,消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
230234	社医) 暁星会 三財病院	西都市	内	1	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 百瀬病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	医) 介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和5年11月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡（612.77坪）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡（691.16坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡（424.38坪） ※別途駐車場あり（20台）	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡（1,348.18坪） 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡（250.20坪） ※駐車場あり（70台）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡（501.38坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡（251.33坪） ※駐車場あり（50台）	所有者：（医）社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡（265.15坪） 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡（34.54坪） ※駐車場あり（20台）	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地（宮崎県医師協同組合）

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail：isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年11月28日

12		月			
1	金	10:00 (東京)世界医師会ヘルシンキ宣言大洋州地域専門家会議 19:00 県医中間監事監査 19:00 県産婦人科医会HTLV-1母子感染対策事業研修会(Web会議)	12	火	18:00 医協理事会 18:30 医協理事・運営委員合同協議会 19:00 役職員懇談会 終了後 第17回全理事協議会 19:00 (延岡市)延岡市医師会会員忘年会
2	土	13:00 日医家族計画・母体保護法指導者講習会(Web会議) 15:00 生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)(Web会議)	13	水	15:30 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 16:00 支払基金審査運営協議会
3	日	9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 10:30 (日医)全国有床診療所連絡協議会常任委員会・役員会 12:00 (日医)「有床診療所の日」記念講演会当日打合せ 13:00 (日医)「有床診療所の日」記念講演会(都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会) 16:20 (日医)日医有床診療所委員会	14	木	14:00 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会(Web会議) 15:00 地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会 19:00 広報委員会 19:00 県産婦人科医会全理事会(Web会議)
			15	金	18:00 指導医のための教育ワークショップ打合せ
			16	土	9:00 指導医のための教育ワークショップ 13:35 指導医のための教育ワークショップ記念撮影
4	月	10:00 (日南市)ロコモ予防運動推進事業普及講座 15:00 (日医)国民医療を守るための総決起大会	17	日	8:30 指導医のための教育ワークショップ
5	火	9:00 (東京)自民党議員連盟「国民医療を守る議員の会」総会 19:00 第9回常任理事協議会	18	月	
6	水	15:00 日医地域医療対策委員会 19:00 広報委員会	19	火	10:00 日医監事会(Web会議) 13:00 日医理事打合せ(Web会議) 14:00 日医理事会(Web会議)
7	木	14:00 宮大医学部医の倫理委員会 17:00 県地域医療対策協議会 19:00 県地域医療・福祉推進協議会代表者会	20	水	(会館大掃除) 14:00 県保険者協議会
8	金	18:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会(Web会議) 19:00 県感染症危機管理研修会・予防接種従事者研修会(Web会議)	21	木	(都農町)ロコモ予防運動推進事業普及講座 17:00 県医療審議会
9	土	15:00 県産婦人科医会性教育シンポジウム(Web会議) 16:00 病院部会・医療法人部会合同研修会	22	金	19:00 (都城市)都城市北諸県郡医師会忘年会
			23	土	
10	日	9:00 (日医)都道府県災害医療コーディネーター研修 10:00 (都城市)県産婦人科医会J-CIMELS講習会 13:30 (福岡)竹嶋康弘先生を偲ぶ会	24	日	11:00 (福岡)自見はなこ政策セミナー
11	月		25	月	
			26	火	15:00 県・市町村との妊婦健診等に関する協議会 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 第18回全理事協議会(Web会議)
			27	水	15:00 労災診療指導委員会
		14:00 (福岡)九州地方社会保険医療協議会総会 19:00 自殺対策うつ病研修会(Web会議)	28	木	
			29	金	(年末休業)
			30	土	(年末休業)
			31	日	(年末休業)

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年11月28日

1			月			
1	月	(年始休業)	19	金	14:00 (日医) 日医勤務医委員会	↑
2	火	(年始休業)	20	土	13:50 日本プライマリ・ケア連 合学会九州支部総会・学 術大会 (宮崎) (Web会議)	
3	水	(年始休業)				
4	木	13:00 新年賀詞交歓会	21	日	8:30 日本プライマリ・ケア連 合学会九州支部総会・学 術大会 (宮崎) (Web会議)	国 保 審 査
5	金					
6	土	19:00 三師会合同新春懇談会	22	月	15:00 県ロコモティブシンドロ ーム対策協議会 19:00 広報委員会	
7	日					
8	月		23	火	18:30 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第20回全理事協議会	↑ ↓
9	火	18:00 県感染症医療提供体制ワーキン ググループ会議 19:00 第10回常任理事協議会				
10	水	15:00 性暴力被害者支援に係る意見交換会	24	水	13:30 宮大経営協議会	
11	月	18:00 県医療審議会医療計画部会 19:00 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)				
12	金	18:00 県感染症対策連携協議会				
13	土		25	木	15:00 日医財務委員会 (Web会議) 18:00 九州地方社会保険医療協 議会宮崎部会 18:45 スポーツドクター連盟総会 (Web会議) 19:00 健康スポーツ医学セミナー (Web会議)	社 保 審 査
14	日	9:00 人体シミュレータを用いた在宅 医療研修会 9:00 (日医) 日医JMAT研修 (基本編) 14:00 医師と多業種ご縁の会				
15	月	19:00 広報委員会				
16	火	15:30 県感染症対策審議会 19:00 第19回全理事協議会 (Web会議)	26	金	13:30 県訪問看護ステーション連 絡協議会管理者向け研修会 19:00 県外科医会理事会	↓
17	水	13:30 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 14:00 都道府県医師会学校保健担当理 事連絡協議会 16:30 支払基金審査運営協議会				
18	木	14:00 宮大医学部医の倫理委員会 18:00 医師クランク育成・スキルアッ プ研修会 (Web会議) 18:30 勤務医部会理事会 (Web会議) 19:00 勤務医部会後期講演会 (Web会議)	27	土	14:30 産業医研修会 (TV会議) 16:00 (福岡) 日医未来医師会ビ ジョン委員会	
			28	日	9:00 (福岡) 日医未来医師会ビ ジョン委員会 9:00 かかりつけ医等発達障害 対応力向上研修会	
			29	月	19:00 県医療的ケア児等支援部会	
			30	火	10:30 (日医) 日医監事会 12:00 (日医) 日医理事打合会 12:30 (日医) 日医理事会 16:30 (日医) 日医連執行委員会 17:30 (日医) 都道府県医師会会長会議・ 日医連執行委員会合同新年会 19:00 県臨床研修・専門研修運営協議 会ワーキンググループ (Web会議)	
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。			31	水	15:00 労災診療指導委員会	

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
令和5年度HTLV-1母子感染対策事業研修会 (Web講習会) 12月1日(金) 19:00～20:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	成人T細胞白血病の臨床について 長崎大学 原爆後障害医療研究所 原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学研究分野 教授 宮崎 泰司 専門医共通講習-感染対策：1単位	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県産婦人科医会 ☎0985-22-5118
西臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 12月1日(金) 19:00～20:00 高千穂町国民健康病院会議室 ※受講はWebのみ	心不全治療 UP TO DATE(仮) 済生会熊本病院 循環器内科 医長 兒玉 和久	19 (1.0)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※日本ペーリンガーインゲルハ임財団 ☎080-8754-5398
令和5年度依存症対策地域支援事業支援者向け研修会「ギャンブル障害の治療の実際～多様化するギャンブル問題(ネット・スマホ・ゲーム)～」 (Web講習会) 12月2日(土) 10:00～16:00 藤元メディカルシステム附属医療専門学校 ※受講は現地またはWeb	ギャンブル障害の治療と実際 大悟病院 大塚 響 九州財務局の取り組み 九州財務局 宮崎財務事務局 安部 尚子	70 (1.5) 11 (2.0)	◇主催 宮崎県 ◇共催 宮崎県依存症治療拠点機関・依存症専門医療機関 ※大悟病院 ☎0986-52-5800 ◇後援 宮崎県公認心理師・臨床心理士会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎市郡医師会産業医研修会 12月2日(土) 14:15～17:20 宮崎市郡医師会館 1階講堂	労働衛生の現状等について 宮崎労働基準監督署 安全衛生課 課長 外村 哲史	70 (1.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
	行動変容を導く効果的な保健指導 ～心とからだ/EBMとNBM～ 串間市民病院 病院長 江藤 敏治	5 (1.5)	
第2回日南クリニカルパスを学ぶ会 12月2日(土) 14:30～16:30 宮崎県立日南病院 講堂	クリニカルパス作成カンファレンスの実際 宮崎県立日南病院 中央材料室/パス推進室 山下 美香子	7 (0.5)	◇主催 宮崎県立日南病院患者 支援センター/パス推進室 (連絡先) 宮崎県立日南病院患者支援センター ☎0987-23-3111
	他 アウトカム志向クリニカルパスの作成と運用 大阪公立大学医学部附属病院 看護部 副部長 中 麻里子	7 (1.5)	
第3回令和5年度 宮崎県医師会生活 習慣病検診従事者 研修会(肺・乳・ 胃・大腸がん検診 研修会) (Web講習会) 12月2日(土) 15:00～17:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	肺がん検診 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 病院准教授 柳 重久	7 (0.5) ⑦	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳癌検診の実際～超音波を中心に～ まつ婦人科クリニック 院長 松 敬文	11 (0.5) ⑩	
	胃がん検診から胃がん治療まで 県立宮崎病院 外科部長 兼 患者支援センター部長 日高 秀樹	12 (0.5) ⑨	
	低侵襲の大腸ポリープ内視鏡治療 宮崎大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野 教育医長 鈴木 翔	82 (0.5) ⑧	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第89回宮崎県精神 科医会懇話会 12月2日(土) 17:30～19:00 ホテルメリージュ 3階	気分症から見る認知機能と気分の連関 山口大学 医学系研究科 高次脳機能病態学講座 教授 中川 伸	29 (1.0)	◇主催 ※宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126 ◇共催 大塚製薬(株)
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 12月6日(水) 19:00～20:00 ホテルペルフォ ート日向	地域で考える心不全診療-予防/治療と連携を視点として 宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 准教授 松浦 祐之介	12 (1.0)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 大塚製薬(株) ノバルティスファーマ(株)
令和5年度結核対 策研修会 12月6日(水) 19:00～20:30 宮崎県都城保健所	結核・非結核抗酸菌症の基礎知識 ～診療現場を意識して～ 宮崎東病院 院長 伊井 敏彦	9 (1.5)	◇主催 ※宮崎県都城保健所 ☎0986-23-4504
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 (Web講習会) 12月7日(木) 19:00～20:00 日向市東臼杵郡医 師会館 ※受講はWebのみ	高齢者の糖尿病 野田医院 副院長 野田 智穂	76 (1.0)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 住友ファーマ(株)
宮崎木曜会年末講演 会(大腸がん研修会) (Web講習会) 12月7日(木) 19:30～20:30 MRTmicc 3階エメ ラルドホール ※受講は現地また はWeb	内視鏡による大腸がんスクリーニングとサーベイラン スの最新エビデンス 東邦大学 医療センター大森病院 消化器内科 教授 松田 尚久 (大腸)	11 (1.0)	◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 ※富士製薬工業(株) ☎080-4580-9756

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 12月8日(金) 19:00～20:00 ホテルベルフォート日向	消化器内視鏡診療のPitfall(仮) 宮崎大学医学部附属病院 消化器内科 助教 三池 忠	52 (1.0)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 大塚製薬(株) 武田薬品工業(株)
令和5年度宮崎県 県感染症危機管理 研修会・予防接種 従事者研修会 (Web講習会) 12月8日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館 ※受講はWebのみ	予防接種に係る最新の知見等について(仮) 浜松医科大学 小児科 教授 宮入 烈	8 (1.0)	◇主催 宮崎県 ◇共催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	----- 今後の新興感染症発生に備えた地域の医療連携体制の在り方(仮) 国立国際医療研究センター 国際感染症センター長 大曲 貴夫	12 (1.0)	
第34回宮崎心エコー研究会 (Web講習会) 12月13日(水) 18:45～20:00 第一三共(株)宮崎営業所 ※受講はWebのみ	先天性心疾患～少しじっくり、少し楽しく～ 大阪教育大学 教育学部 養護教育講座 教授 平田 久美子 他	43 (1.0)	◇主催 宮崎心エコー研究会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
第245回宮崎県泌尿器科医会 12月14日(木) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル東館2階「紅の間」 参加費:5,000円	尿路変更術の歴史と変遷 宮崎大学医学部 泌尿器科学講座 教授 賀本 敏行	0 (1.0)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第17回在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会 (Web講習会) 12月14日(木) 19:00～20:30 宮崎市郡医師会病院医師会館講堂 ※受講は現地またはWeb	腎不全・透析患者さんを在宅でいかに支えるか ～多職種連携の重要性～ ひなた在宅クリニック 眞川 昌大	80 (1.5)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会地域包括ケア推進センター ☎0985-77-9106
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 12月15日(金) 19:00～20:00 キャトルセゾン・マツイ 3階 ※受講は現地またはWeb	嘔吐で発症し治療に難渋したスキルス胃癌の一例 宮崎県立延岡病院 消化器内科 小野 健太 ----- 便秘診療update ～便通異常症診療ガイドライン2023を踏まえて～ 宮崎県立延岡病院 消化器内科 医長 平田 智也	51 (0.5) ----- 54 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 EAファーマ(株) ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第204回宮崎県眼科医会講習会 12月16日(土) 16:00～19:05 KITENビル 8階 大会議室 参加費:3,000円	激変?ドライアイ治療最前線 慶應義塾大学医学部 眼科学教室 特任講師 内野 美樹 ----- 原発閉塞隅角病の治療戦略update ～ガイドライン改訂を受けて～ 神戸アイセンター病院 院長 栗本 康夫	36 (1.0) ----- 36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)
第1回宮崎骨粗鬆症研究会 (Web講習会) 12月18日(月) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル東館2階「日向の間」 ※受講は現地またはWeb	二次性骨折予防継続管理料の算定要件と施設基準について(仮) 三財病院 副院長・整形外科部長 松本 英裕 ----- 骨粗鬆症の診断と治療(仮) 健愛記念病院 副院長 池田 聡	10 (0.5) ----- 77 (1.0)	◇主催 宮崎骨粗鬆症研究会 ◇共催 ※東和薬品(株) ☎070-7426-2914 ◇後援 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 12月19日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	健康経営を導くワークライフバランス 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第180回宮崎心臓 病研究会 (Web講習会) 12月19日(火) 19:00～20:10 宮崎観光ホテル ※受講は現地また はWeb	心房細胞診療のコツ 杏林大学医学部附属病院 循環器内科学 教授 副島 京子 他	0 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 興和(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
県北産婦人科医会 (12月度例会) 12月28日(木) 19:00～20:10 延岡市医師会病院 5階研修室	女性ヘルスケアから考える産婦人科医療 ～エクオールの有効性と安全性の科学的検証～ 九州大学 医学研究院 生殖病態生理学 教授 加藤 聖子	83 (1.0)	◇主催 県北産婦人科医会 ◇共催 ※大塚製薬(株) ☎080-1019-9107
宮崎木曜会新年講 演会 (Web講習会) 1月18日(木) 19:00～20:00 KITENビル8階 大会議室 ※受講は現地また はWeb	X1が切り拓く新たな内視鏡治療 鹿児島大学病院 消化器内科 前田 英仁	9 (1.0)	◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 ※オリンパスマーケティング(株) ☎090-2437-7799

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
日本プライマリ・ケア連合学会第18回九州支部総会・学術大会 (Web講習会) 1日目 1月20日(土) 13:50～17:30 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb 参加費：5,000円	Neural GP：島根県における人材育成の取り組み 島根大学医学部附属病院 総合診療医センター センター長 白石 吉彦	12 (1.0)	◇主催 日本プライマリ・ケア連合学会宮崎県支部 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	宮崎県立宮崎病院総合診療科 case conference 佐賀大学医学部 地域医療科学教育研究センター 特任准教授 山下 駿	15 (1.5)	
	ポートフォリオフェスティバル KOPe事務局 (Kysuyu & Okinawa Portfolio e-learning)	他 5 (1.5)	
日本プライマリ・ケア連合学会第18回九州支部総会・学術大会 (Web講習会) 2日目 1月21日(日) 8:30～15:30 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb 参加費：5,000円	医療/介護崩壊を起こさない仕組み 沖縄県立中部病院 感染症内科・地域ケア科 副部長 高山 義浩	13 (1.0)	◇主催 日本プライマリ・ケア連合学会宮崎県支部 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	まちづくり (株)イツノマ 代表取締役社長 中川 敬文	12 (1.5)	
	総合診療(家庭医療)を軸とした地域医療の展開 宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座 教授 日本プライマリ・ケア連合学会 宮崎県支部長 吉村 学	12 (1.0)	
	ひとづくり 宮崎大学医学部 地域包括ケア・総合診療医学講座 特別准教授 都農町国民健康保険病院 院長 桐ヶ谷大淳	10 (1.5)	
	この褥瘡、どうしましょう 三和クリニック 古結 英樹	58 (1.5)	
	キャリアカフェ 松本医院 松本 朋樹	1 (1.0)	
	他	他	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和5年度宮崎県 医師会健康スポー ツ医学セミナー (Web講習会) 1月25日(木) 19:00～20:30 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	幼児・学童期における運動の在り方と医師の関わり(仮) 宮崎大学医学部附属病院 病院長 帖佐 悦男 日医認定健康スポーツ医学再研修会：0.5単位	11 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	女性における運動の在り方と医師の関わり(仮) 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 整形外科学分野 助教 山口 奈美 日医認定健康スポーツ医学再研修会：0.5単位	82 (0.5)	
	高齢者における運動の在り方と医師の関わり(仮) 宮崎大学医療人育成推進センター 講師 船元 太郎 日医認定健康スポーツ医学再研修会：0.5単位	19 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 1月30日(火) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	この一年間(令和5年)の産業保健の動向 産業保健相談員 矢崎 武 労働衛生コンサルタント 生涯研修の更新研修会：2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和5年度医師等 医療従事者結核研 修会 1月31日(水) 19:00～20:30 宮崎県高鍋保健所 2階研修室	結核・非結核抗酸菌症の基礎知識 ～診療現場を意識して～ 宮崎東病院 院長 伊井 敏彦	8 (1.5)	◇主催 ※宮崎県高鍋保健所 ☎0983-22-1330

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月2日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	事業場におけるストレスと精神障害(2) 産業保健相談員 ウエダメンタルクリニック 院長 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	69 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
【7/21延期分】 延岡医学会学術講 演会 (Web講習会) 2月2日(金) 19:00～20:10 エンシティホテル 延岡 ※受講は現地また はWeb	間質性肺疾患の診断と最近の治療(当院の症例も踏まえて) 宮崎県延岡病院 内科(呼吸器内科) 医長 天神 佑紀	45 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 日本ペーリンガーインゲルハイム㈱ (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎県医師会産業 医研修会 2月6日(火) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	この一年間(令和5年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 2月14日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	この一年間(令和5年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

診療メモ



臍帯血バンクについて ～臍帯血治療の現状と展望～

宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野 児 玉 由 紀

臍帯とは、胎児と胎盤とを結ぶ索状物で、胎児の臍輪から出て胎盤の胎児面に付着します。直径1～2 cmで螺旋を形成しています。内部には2本の動脈と1本の静脈があり、臍帯動脈内には胎児の静脈血が胎盤へ流れ、臍帯静脈内には胎盤で酸素化された動脈血が流れています。臍帯血中には、赤血球、白血球、血小板などを造る造血幹細胞や免疫細胞などが含まれています。このため、臍帯血は白血病や骨髄異形成症候群、再生不良性貧血など重篤な血液疾患治療に使われてきました(図)。

ところで、臍帯血には造血幹細胞だけでなく、さまざまな細胞に変化する幹細胞も含ま

れ、近年有効な治療法がない疾患や障害への応用が進んでいます。臍帯血治療の対象疾患としては、さまざまな疾患が挙げられます。確立した治療のほかにも、臨床試験や基礎的な動物実験が行われています(表)。

臍帯血バンクは、白血病などの血液疾患の治療として造血幹細胞移植(特に「臍帯血移植」)が必要な患者のために、産婦から提供される臍帯血を患者に幹旋する仕組みおよびその業務を担う公的機関です。私的利用を扱う民間のバンクもあります。

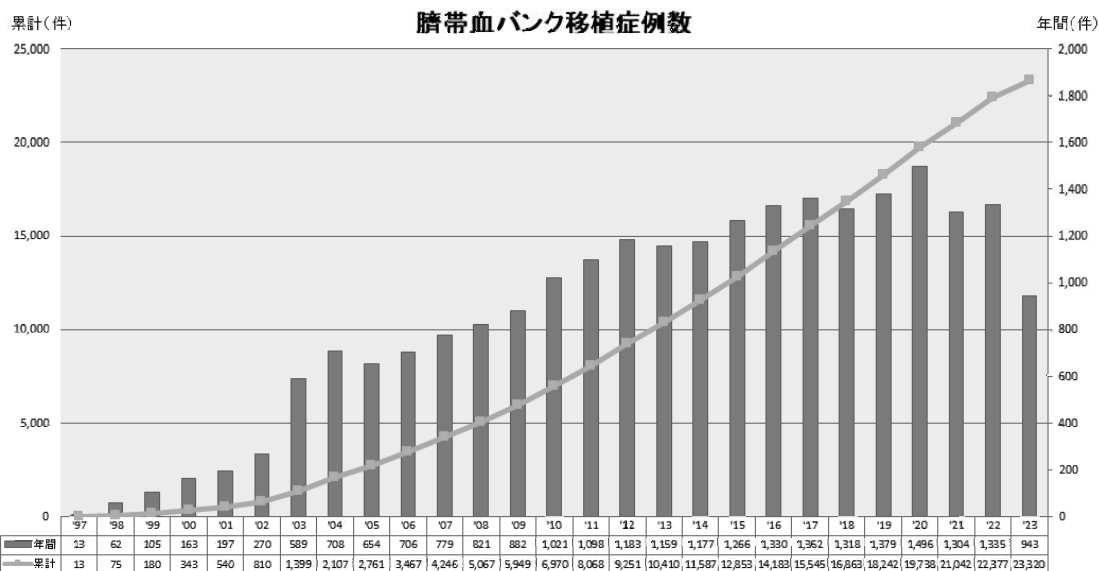


図. 臍帯血バンク移植症例数

(2023年8月末集計)
(造血幹細胞移植情報サービスHPより)

表. ヒト臍帯血治療の対象疾患

臍帯血バンク	血液腫瘍
	異常ヘモグロビン症
	免疫不全
	先天代謝異常症
臨床試験	外傷性脳損傷
	小児難聴
	脳性麻痺
	低酸素性虚血症脳症
	自閉症
動物実験	新生児脳梗塞

公的さい帯血バンク

白血病などの治療のための移植に用いられる臍帯血を供給する事業者です。無償で提供された臍帯血の採取、調整、保存を行うとともに、患者が移植を希望した場合には、その患者が移植を受ける医療機関へ臍帯血を引き渡す業務を行っています。臍帯血供給事業者として厚生労働大臣の許可を受けた業者は全国6か所あります。

- ・北海道さい帯血バンク
- ・関東甲信越さい帯血バンク
- ・中部さい帯血バンク
- ・九州さい帯血バンク
- ・近畿さい帯血バンク
- ・兵庫さい帯血バンク

民間さい帯血バンク（臍帯血プライベートバンク）

公的バンクが第三者への寄付であるのに対し、本人や家族の病気治療のために、現在はまだ医療技術としては確立されていない再生医療などに将来利用する場合に備えて、委託契約を結び、保管費用を支払うことにより、臍帯血を保存してもらう事業者です。新生児本人や家族が将来病気になったときの保険として、出産時に採取した臍帯血を保管する民間バンクの利用者も増えています。

現在の事業届出されているのは以下のとおりです。

- ・株式会社ステムセル研究所
- ・株式会社アイル

骨髄バンクと臍帯血バンクの違い

どちらも移植を必要とする患者さんのために活動しています。大きな違いは、骨髄バンクは登録しているドナーのHLA型が患者さんと適合した場合に、ドナーから骨髄を採取するのに対し、臍帯血バンクは事前に臍帯血を採取、保存していることです。また、患者さんとドナーが受ける影響にもさまざまな違いがあります。どちらのバンクを使って移植するかは、それぞれの患者さんの状況や条件に合わせて主治医が判断します。

臍帯血治療の展望

小児の白血病治療に臍帯血を使用した米国Duke大学の治療成績の検討から脳性麻痺児の機能改善が得られたケースが報告されました（Englander ZA, et al. Neuroimage Clin. 2015）。しかしながらこの報告では、臍帯血輸血で偶然観察されたものであり、脳性麻痺症状改善の機序については不明のままとなっています。

高知大学では2017年から1～6歳の脳性麻痺児6人に臍帯血を投与する臨床研究が行われ、安全性と臨床応用への実効性が確認されました。粗大運動能力尺度は、臍帯血輸血治療後1～3年時点で有意な改善には至らなかったものの、6人すべての一年後のスコアは予測値より中央値で6.8ポイント改善し、発達状態や知的能力の改善にも寄与する可能性が示されました（Kikuchi H, et al. Brain Dev.2022）。

臍帯血の投与で病状が改善するのは、幹細胞が脳の損傷部位やその周辺の細胞に働きかけ、炎症を抑えたり、神経や血管の再生を促進したりして損傷部位の修復を助けるためと考えられています。

米国Duke大学は米食品医薬品局（FDA）の承認を得て、脳性麻痺のほか、自閉症や脳卒中、水頭症などでも一定条件を満たしたうえで臍帯血を投与できる制度を整えています。今後、本邦でもさらに臨床研究が進むことで、治療法のない疾患への応用が期待されます。

宮大医学部学生のページ



研究室配属について 機能生化学分野

宮崎大学医学部 医学科3年 ^ま真 ^{ざき}崎 ^{しょう}翔

宮崎大学医学部医学科3年生のカリキュラムとして研究室配属実習があります。この研究室配属実習では、3年生全員が研究先を希望し、それぞれの配属先で研究のお手伝いや実際に研究を行ったり、臨床の現場を見学したりします。今年は10月10日から11月10日の1か月間で行われました。研究室には、病理学や生理学などの基礎科目分野と、整形外科や産婦人科などの臨床分野があり、私は基礎科目分野の機能生化学分野で研究の勉強をさせていただきました。機能生化学は2年生の前期で学習し、生物の体を構成するさまざまな分子がどのような化学反応を起こしているか、そしてそれぞれの機能をどのように担っているかなどについて学びました。大学入学前から体のメカニズムなどに興味があった私は、機能生化学分野についてもっと詳しく知りたいと思いこの研究室を希望しました。

今回の機能生化学の実習では、「クロマチン制御因子が小胞体ストレスに与える影響」について調べました。最初はクロマチン制御因子や、小胞体ストレスとは何か分からなかったのですが、ついていけるのだろうかという思いでした。また、基礎研究を行っている人も身近におらず、基礎研究について今まで詳しくは聞いた

ことがなかったのでより一層不安でした。しかし、先生方の説明を聞くたびに、昨年の授業で習った内容と結びつき、理解が深まるとともに実習が楽しくなっていました。「小胞体ストレス」や「クロマチン制御因子」といった単語だけを聞くとあまり理解できなかった言葉も、それらの背景や役割を知ることで、何のためにこの実験を行っているのかを理解でき、より目的意識を持ちながら、充実した時間を過ごせました。

研究室配属の最初の1週間は、2年生の実習のサポートを行いました。去年の実習ではただ作業を行っているだけで、あまり内容などは理解できていなかったのですが、今回のサポートでは、去年とはやっていることの見え方も変わりました。内容もより理解できるようになり、今年1年間で習ったことが身についているのかなとうれしく思いました。実習の初めの1週間ということもあり、とても緊張していたのですが、2年生と実習のことについて話したり、一緒に手を動かしたりしながら、先生方からもアドバイスをいただいて、研究室の雰囲気にも馴染むことができました。

2週目からは実際に研究を行いました。私たちの研究では、「各種クロマチン制御因子欠損

による小胞体ストレス誘導性アポトーシスへの影響」と、「各種小胞体ストレス応答性遺伝子発現への影響」について調べました。まず初めに細胞増殖能測定を行いました。初めは、時間において顕微鏡で実際に細胞の数を数えましたが、あまり正確な細胞数を数えられる方法ではなく、信用性が低いため次に吸光度測定を行いました。測定の結果、実際に顕微鏡で数えた細胞数とは異っており、正確性の大切さを実感しました。次に死細胞数測定を行いました。この測定は蛍光顕微鏡を使って行いました。蛍光顕微鏡を初めて使ったのですが、今まで使った顕微鏡とは異なり、あらかじめ指定の蛍光色素を加えておくと死細胞だけ赤く染まり、死細胞と生細胞の区別がはっきりつきました。これまでの実験で、細胞は増殖阻害を受けているのか、それともアポトーシスが起きているのかを調べました。次の実験ではPCRと電気泳動法を用いて、アポトーシスによるDNA断片化の検出を行いました。PCRはコロナの検査などでよく耳にするもので、今までの他の科目の実習でもたくさん行ってきましたが、DNAを増殖させるというおおまかな意味しか理解していま

せんでした。しかし、今回何度もPCRの実験を行うことで、PCRにはどのような試料が必要か、そしてどのような手順で行えばよいかなど、より詳しくPCRについて知ることができました。班のメンバーと実験の結果から考察を行い、最初は結果のどの部分に着目すればよいのかも分からなかったのですが、実験が進むにつれて、データの解釈ができるようになり、私たちの力で考察できたときは、とても嬉しく、研究の楽しさを味わうことができました。

この1か月間、機能生化学分野の魅力をたくさん学ばせていただきました。私が学んだことは、機能生化学分野のほんの一部ではありますが、今回学んだことを生かしてさらに機能生化学について知りたいと思いました。また、今回の研究室配属を通して、今後医学の勉強により一層励もうと感じました。

最後になりましたが、お忙しい中このような素晴らしい機会を設けてくださった担当の西頭先生、高見先生をはじめ、宮崎大学医学部機能制御学講座 機能生化学分野のスタッフの皆様に心からお礼を申し上げます。



研究室メンバーの集合写真

令和5年 総目次 (No.881~No.892)

【表紙】

恭則壽	宮 崎 市	山 内	励	1月号
white pigeon for peace	宮 崎 市	松 本	健 吾	2月号
のら猫の散歩	都 城 市	山 路	健	3月号
桜映え	延 岡 市	長 沼	弘三郎	4月号
水紋	宮 崎 市	楠 元	正 輝	5月号
集落	宮 崎 市	佐々木	究	6月号
劔岳へ	宮 崎 市	浅 見	鳴 子	7月号
ひまわりの咲くころ	西 都 市	安 藤	宣	8月号
この百合の花	宮 崎 市	石 川	万佐子	9月号
追想	宮 崎 市	野 崎	藤 子	10月号
Alice	宮 崎 市	大 塚	早 智	11月号
ロックライミング	綾 町	玉 置	昇	12月号
	会 長	河 野	雅 行	

【会長のページ】

年頭所感	1月号
平和について（平穏無事）	2月号
統一地方選挙	3月号
ウィズコロナ アフターコロナ	4月号
全国学校保健・学校医大会	5月号
医師の働き方改革	6月号
暑さに思う（熱中症）	7月号
人手不足	8月号
かかりつけ医	9月号
マイナンバーカード保険証	10月号
外国人患者	11月号
再びAI（チャットGPTを試用して）	12月号

【日州医談】

地域医療構想・第8次医療計画の動向を考える	常任理事	池 井	義 彦	2月号
地域包括ケアシステムの進化・深化に向けて	常任理事	石 川	智 信	3月号
かかりつけ医は、国民皆保険制度の根幹	常任理事	金 丸	吉 昌	4月号
変革を迎える社会保険診療報酬支払基金	常任理事	嶋 本	富 博	5月号
宮崎県における医師会立看護学校の現状	常任理事	赤 須	郁太郎	6月号

日本医師会第1次未来医師ビジョン委員会の取組み	常任理事	大塚 康二郎	7月号
感染検査における「検査の正確さ」	理 事	峰 松 俊 夫	8月号
医師国保組合の統合・合併はあるか？	理 事	佐々木 究	9月号
「日本プライマリ・ケア連合学会」について	理 事	玉 置 昇	10月号
女性医師が働き続けるための環境を考える（医療現場の男女共同参画を目指して）			
	理 事	上 山 貴 子	11月号
医師会の組織力強化と医師会を取り巻く環境の変化	常任理事	市 来 能 成	12月号

【挨拶】

年頭所感	日本医師会長	松 本 吉 郎	1月号
年頭所感	顧 問	秦 喜八郎	1月号
年頭所感	顧 問	稲 倉 正 孝	1月号
年頭所感	宮崎市郡医師会長	高 村 一 志	1月号
年頭所感	都城市北諸県郡医師会長	田 口 利 文	1月号
年頭所感	延岡市医師会長	佐 藤 信 博	1月号
年頭所感	日向市東臼杵郡医師会長	千代反田 晋	1月号
年頭所感	児湯医師会長	永 友 和 之	1月号
年頭所感	西都市西児湯医師会長	松 本 英 裕	1月号
年頭所感	南那珂医師会長	中 村 彰 伸	1月号
年頭所感	西諸医師会長	内 村 大 介	1月号
年頭所感	西臼杵郡医師会長	植 松 昌 俊	1月号
年頭所感	宮崎大学医学部医師会長	帖 佐 悦 男	1月号
年頭所感	内科医会長	比 嘉 利 信	1月号
年頭所感	小児科医会長	高 村 一 志	1月号
年頭所感	外科医会長	白 尾 一 定	1月号
年頭所感	整形外科医会長	川 越 正 一	1月号
年頭所感	皮膚科医会長	田 尻 明 彦	1月号
年頭所感	産婦人科医会長	川 越 靖 之	1月号
年頭所感	泌尿器科医会長	福 田 聡一郎	1月号
年頭所感	眼科医会長	中 村 彰 伸	1月号
年頭所感	耳鼻咽喉科医会長	井 手 稔	1月号
年頭所感	精神科医会長	吉 田 建 世	1月号
年頭所感	放射線科医会長	杜 若 陽 祐	1月号
年頭所感	東洋医会長	川 越 宏 文	1月号
年頭所感	透析医会長	藤 元 昭 一	1月号
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河 野 俊 嗣	1月号

年頭のご挨拶	宮崎大学長	鮫 島 浩	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（1区）	渡 辺 創	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（2区）	江 藤 拓	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（3区）	古 川 禎 久	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（比例）	武 井 俊 輔	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（比例）	長 友 慎 治	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	松 下 新 平	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	長 峯 誠	1月号
年頭のご挨拶	厚生労働副大臣・参議院議員	羽生田 俊	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	自 見 はなこ	1月号

【新任教授挨拶】

機能制御学講座 蛋白質機能学分野	教 授	和 田 啓	9月号
------------------	-----	-------	-----

【随想・随筆】

その日の出来事	西 都 市	串 間 美 昭	3月号
真夏に植えた庭の花壇	宮 崎 市	友 成 久 雄	3月号
フト思い出す心に残した一言	延 岡 市	宝珠山 弘	4月号
爺川柳	宮 崎 市	谷 口 二 郎	5月号
ハンディ30の人は…	宮 崎 市	田 畑 直 人	5月号
爆笑するは我にありーその2 laugh out not yourselves – part 2	日 南 市	北 村 和 生	5月号
宮崎県の第一印象	延 岡 市	石 橋 俊 秀	5月号
ランドセルというもの	宮 崎 市	谷 口 二 郎	6月号
惜別 炭火焼きの鶏（けい）	宮 崎 市	稲 倉 琢 也	6月号
春の草木と植木市	延 岡 市	石 橋 俊 秀	6月号
春の生駒高原	延 岡 市	石 橋 俊 秀	9月号
昆虫食の時代到来	宮 崎 市	谷 口 二 郎	9月号
永く続くために、ペース配分の難しさ	宮 崎 市	上 田 孝	9月号
開業について	宮 崎 市	杉 田 幸 雄	9月号
アボカドの芽	宮 崎 市	渡 邊 望	10月号
～車道楽は永遠に～	三 股 町	仲 道 展 久	10月号
紫の花 駅の歌	延 岡 市	石 橋 俊 秀	10月号
待つということ	宮 崎 市	谷 口 二 郎	11月号
砂でつくる夢と感動2023	延 岡 市	石 橋 俊 秀	11月号
キーレス時代	宮 崎 市	谷 口 二 郎	12月号
レトロ to ミライ	延 岡 市	石 橋 俊 秀	12月号

【新春随想・俳壇・歌壇・川柳・絵画】

奇妙な縁	宮 崎 市	谷 口 二 郎	1月号
COVID-19今後の動向	日 南 市	河 野 秀 一	1月号
分娩数10,000例達成	高 鍋 町	河 野 通 久	1月号
ポールネイロンはなぜ死んだのか	日 南 市	北 村 恵 子	1月号
私のささやかなSDGs	宮 崎 市	名 越 敏 郎	1月号
峠道讃	延 岡 市	長 沼 弘三郎	1月号
消化器（外科医）診療の今昔	宮 崎 市	七 島 篤 志	1月号
九死に一生,,,	宮 崎 市	中 山 健	1月号
私のつぶやき（グチとも云う）	延 岡 市	宝珠山 弘	1月号
Distanceを超えた医療提供	宮 崎 市	眞 柴 晃 一	1月号
心の余白	川 南 町	宮 尾 雄 治	1月号
秋の放課後（2022年10月26日）	串 間 市	満 留 武 宣	1月号
タイからのお客さん	高 鍋 町	鳥 原 康 治	1月号
かわいくない猫	小 林 市	莫 根 隆 一	2月号
令和4年の大爆発	宮 崎 市	早稲田 芳 男	2月号
電気自動車に乗って	日 向 市	関 本 朝 久	2月号
ストレス	延 岡 市	高 尾 雄 平	2月号
インフラ老朽化	宮 崎 市	遠 藤 豊	2月号
皆既月食	高 鍋 町	大 森 史 彦	2月号
踊歴32年目	延 岡 市	岡 村 樹 里	2月号
日日是診療－日向編－	日 向 市	堀之内 和 代	2月号
「妻中学校」の名が危うい！	宮 崎 市	長 嶺 元 久	2月号
コロナ禍だからこそ感じたこと	宮 崎 市	上 山 貴 子	2月号
「あんた何歳や？」	宮 崎 市	室 井 栄 治	2月号
受験協奏曲	宮 崎 市	増 田 好 成	2月号
兎にも角にも、すこやかに	宮 崎 市	加 嶋 亜 紀	2月号

【はまゆう随筆・短歌・俳句】

白いドア	宮 崎 市	谷 口 二 郎	7月号
ライフレビューのススメ	宮 崎 市	細 見 潤	7月号
延岡植物園と御崎馬	延 岡 市	石 橋 俊 秀	7月号
家族と旅をする	宮 崎 市	近 藤 恭 平	7月号
そこはかと思ういや確実に思う	都 城 市	山 路 健	7月号
後期高齢の医師	宮 崎 市	平 部 久 彬	7月号
コロナ禍で得た豊かな心・豊満な体	国 富 町	山 田 琢 也	7月号

マダニ異聞	宮崎市	中山 健	7月号
おばけ退治はしてません！	えびの市	井 尻 裕 司	7月号
ATS2023米国胸部学会出席	日之影町	重 永 哲 洋	7月号
コロナ後の小旅行	川南町	宮 尾 雄 治	7月号
短歌 お題「ゆらゆら」	宮崎市	市 来 能 成	7月号
自家焙煎のすすめ	宮崎市	春 田 厚	8月号
大人の遠足	高鍋町	坂 田 師 通	8月号
誤植	宮崎市	南 嶋 洋 一	8月号
山を下りた夫婦は遭難するのか	宮崎市	田 畑 直 人	8月号
朝のあいさつ	宮崎市	山 崎 俊 輔	8月号
“まほろば” 椎葉	延岡市	長 沼 弘三郎	8月号
80歳で思うこと	宮崎市	獅子目 輯	8月号
人生のやり残し	高鍋町	大 森 史 彦	8月号
鈴虫	宮崎市	大 渕 道 子	8月号
よもやま話	宮崎市	野 間 健 之	8月号
コロナとマスク	宮崎市	河 野 寛 一	8月号
宮崎の印象	宮崎市	岡 田 守 生	8月号

【宮崎グルメ探訪】

いろいろ焼き 鷹将 TAKAMASA	宮崎市	稲 倉 琢 也	8月号
--------------------	-----	---------	-----

【旅行記】

81歳四苦八苦の四国遍路 その1～4	宮崎市	高 崎 眞 弓	8～11月号
--------------------	-----	---------	--------

【エコー・リレー】

ワンコはマイフレンド	綾 町	玉 置 昇	1月号
今年もFun Run	宮崎市	堀之内 謙 一	1月号
金はあるうちに	宮崎市	田 中 宏 幸	2月号
レスキューダイバー	宮崎市	藤 田 晴 吾	2月号
病床にて	宮崎市	河 野 敦 子	3月号
バイクに乗る人生	都城市	森 園 健 介	3月号
23年ぶりのエコー・リレー	宮崎市	山 脇 清 一	4月号
初心者の趣味の園芸	宮崎市	三 好 良 英	4月号
「高齢者割引」を受けて...	都城市	大 岐 照 彦	5月号
きっと今も、これから	宮崎市	土 井 宏太郎	5月号
サーフィン、だって（笑）	延岡市	松 岡 文 章	6月号
感謝	宮崎市	小岩屋 宏	6月号

便利が不便…そして	宮 崎 市	横 田 直 人	7月号
ソフトテニスと私	延 岡 市	和 氣 聡	7月号
感動の色紙と新聞	国 富 町	岩 城 彰	8月号
アナログレコード	宮 崎 市	藤 木 啓	8月号
聞いていただきたい話があります。	都 城 市	蛭 原 啓 文	9月号
これからも元気で頑張ろう！	延 岡 市	井 上 英 豪	9月号
合気道を始めて	延 岡 市	丸 山 洋一郎	10月号
オムレッツ	宮 崎 市	獅子目 亨	10月号
関ヶ原の想い	延 岡 市	高 橋 恒 太	11月号
100点満点	宮 崎 市	坂 田 勝 美	11月号
眼鏡	宮 崎 市	中 尾 紘 一	12月号
内視鏡検査	宮 崎 市	秋 月 英 治	12月号

【叙位・叙勲】

令和4年1月～12月までの叙勲及び・表彰・祝賀受賞会員			1月号
瑞宝小綬章	宮崎市郡医師会	高 宮 眞 樹	6月号
旭日双光章	日向市東臼杵郡医師会	渡 邊 康 久	6月号
旭日双光章	宮崎市郡医師会	濱 田 政 雄	12月号
瑞宝双光章	宮崎市郡医師会	小 野 武 己	12月号

【褒章・祝賀】

藍綬褒章	都城市北諸県郡医師会	竹 内 康 三	12月号
------	------------	---------	------

【表彰・祝賀】

労働基準行政関係功勞により厚生労働大臣表彰	南那珂医師会	松 田 弘 彦	1月号
公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	市 原 美 宏	4月号
公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	速 見 晴 朗	4月号
公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	赤 須 巖	4月号
公衆衛生事業功勞により一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰	都城市北諸県郡医師会	瀬ノ口 頼 久	4月号
公衆衛生事業功勞により一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰	延岡市医師会	野 村 朝 清	4月号
公衆衛生事業功勞により一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰	西都市西児湯医師会	児 玉 芳 久	4月号
公衆衛生功勞により宮崎県知事表彰	宮崎市郡医師会	獅子目 輯	5月号
公衆衛生功勞により宮崎県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	橋 口 兼 英	5月号
公衆衛生功勞により宮崎県知事表彰	延岡市医師会	小 島 一 馬	5月号

医療功勞により県知事表彰	宮崎市郡医師会	原 田 雄 一	7月号
医療功勞により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	大 橋 剛	7月号
医療功勞により県知事表彰	延岡市医師会	高 尾 雄 平	7月号
医療功勞により県知事表彰	児湯医師会	北 村 洋	7月号
医療功勞により県知事表彰	西臼杵郡医師会	佐 藤 元二郎	7月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	宮崎市郡医師会	小 牧 斎	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	宮崎市郡医師会	先 成 英 一	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	宮崎市郡医師会	徳 田 省 吾	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	宮崎市郡医師会	永 迫 文 代	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	宮崎市郡医師会	村 田 博	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	都城市北諸県郡医師会	有 馬 政 輝	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	都城市北諸県郡医師会	三 浦 まり子	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	都城市北諸県郡医師会	矢 野 博 美	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	延岡市医師会	井 手 稔	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	延岡市医師会	野 田 省 治	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	延岡市医師会	山 本 剛	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	西都市西児湯医師会	岩 見 晶 臣	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	西諸医師会	莫 根 隆 一	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	西諸医師会	藺 田 通 広	9月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	西諸医師会	宮 崎 裕 三	9月号
産科医療功勞により厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	山 尾 裕 道	10月号
救急医療功勞により厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	岡 村 博 道	10月号
救急医療事業功勞により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	長 倉 穂 積	10月号
救急医療事業功勞により県知事表彰	延岡市医師会	岸 重 雄	10月号
国民健康保険事業功勞により国民健康保険中央会表彰	宮崎市郡医師会	四 元 茂	12月号
精神保健福祉事業功勞により宮崎県知事表彰	宮崎市郡医師会	首 藤 謙 二	12月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	松 尾 剛 志	12月号
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰	宮崎市郡医師会	獅子目 賢一郎	12月号

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

延岡市医師会 岡 村 公 子 12月号

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰

宮崎市郡医師会 高 木 純 一 12月号

精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰

都城市北諸県郡医師会 有 田 一 信 12月号

日本医師会優功賞

日向市東臼杵郡医師会 金 丸 吉 昌 12月号

日本医師会優功賞

南那珂医師会 峰 松 俊 夫 12月号

【あなたできますか？】

各 号

【あなたできますか？番外編】

6, 7月号

【宮崎県感染症発生動向】

各 号

【メディアの目】

過去のニュース原稿から浮かぶ「3年前の宮崎」

テレビ宮崎 報道部 部長 井 上 豊 2月号

「数字」に含まれている努力

宮崎日日新聞社 報道部長 中 川 美 香 3月号

「Check!」放送開始2年を振り返って

MRT宮崎放送 報道部長 藺 田 康 人 4月号

アポトーシス

NHK宮崎放送局 コンテンツセンター長 松 本 健一郎 5月号

ドラマの世界で終わらない「空飛ぶクルマ」

朝日新聞 宮崎総局長 森 田 博 志 6月号

救急車の逼迫に思うこと

共同通信社 宮崎支局長 阿 曾 吉 宏 7月号

宮崎といえば「いのち」

時事通信社 宮崎支局長 舟 木 靖 8月号

「夏」への思い

読売新聞 宮崎支局長 村 岡 経 世 9月号

青島海岸で「逃げトレ」

西日本新聞社 宮崎支局長 神 屋 由紀子 10月号

唇を奪われた夏

毎日新聞 宮崎支局長 加 藤 学 11月号

「南海トラフ巨大地震」災害報道への対応と備え

テレビ宮崎 コンテンツプロデュース局報道部 部長 寺 田 健 吾 12月号

【郡市医師会だより】

南那珂医師会（メイン）

会 長 中 村 彰 伸 2月号

西諸医師会（メイン）

理 事 吉 村 雄 樹 3月号

西臼杵郡医師会（メイン）

理 事 崔 林 承 4月号

宮崎大学医学部医師会（メイン）

会 長 帖 佐 悦 男 5月号

宮崎市郡医師会（メイン）

会 長 高 村 一 志 6月号

都城市北諸県郡医師会（メイン）

理 事 横 山 剛 7月号

延岡市医師会（メイン）

副 会 長 平 野 雅 弘 8月号

日向市東臼杵郡医師会（メイン）	会 長	千代反田 晋	9月号
児湯医師会（メイン）	副 会 長	蟻 塚 高 生	10月号
西都市西児湯医師会（メイン）	副 会 長	上 山 裕 史	11月号
南那珂医師会（メイン）	会 長	中 村 彰 伸	12月号

【国公立病院だより】

国立病院機構都城医療センター	院 長	吉 住 秀 之	3月号
JCHO宮崎江南病院	院 長	白 尾 一 定	5月号
県立延岡病院	院 長	寺 尾 公 成	7月号
串間市民病院	院 長	江 藤 敏 治	9月号
国立病院機構宮崎病院	院 長	宮 尾 雄 治	11月号

【宮崎大学医学部だより】

感染症学講座 免疫学分野	教 授	佐 藤 克 明	2月号
宮崎大学医学部附属病院 リハビリテーション部	教 授	荒 川 英 樹	3月号
解剖学講座 超微形態科学分野	教 授	澤 口 朗	4月号
機能制御学講座 統合生理学分野	教 授	高 宮 考 悟	6月号
発達泌尿生殖医学講座 泌尿器科学分野	准 教 授	澤 田 篤 郎	7月号
機能制御学講座 血管動態生化学分野	教 授	西 山 功 一	8月号
臨床神経科学講座 精神医学分野	医 局 長	船 橋 英 樹	10月号
感覚運動医学講座 眼科学分野	医 局 長	日 高 貴 子	11月号
地域医療・総合診療医学講座	教 授	吉 村 学	12月号

【専門分科医会だより】

眼科医会	会 長	中 村 彰 伸	3月号
透析医会	会 長	藤 元 昭 一	5月号
泌尿器科医会	会 長	福 田 聡一郎	6月号
小児科医会	会 長	高 村 一 志	7月号
産婦人科医会	会 長	川 越 靖 之	8月号
耳鼻咽喉科医会	会 長	坪 井 康 浩	9月号
放射線科医会	会 長	杜 若 陽 祐	11月号
内科医会	常任理事	玉 置 昇	12月号

【部会だより】

労災部会	部 会 長	佐 藤 信 博	4月号
園医部会	部 会 長	高 山 修 二	10月号

【報告（宮崎県医師会各種委員会）】

介護保険委員会			1月号
医学賞選考委員会			2月号

救急災害医療対策委員会	4月号
宮崎県医師会医学会役員会	5月号
宮崎県医師会医学会誌編集委員会	5月号
医療保険委員会	11月号

【報告（諸会議）】

第2回各郡市医師会長協議会	1月号
九州医師会連合会第404回常任委員会	1月号
九州医師会連合会令和4年度第1回各種協議会	1月号
令和4年度医師会立看護学校担当理事連絡協議会	2月号
第3回各郡市医師会長協議会	3月号
九医連第124回臨時委員総会	3月号
九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員会合同協議会	3月号
第122回九州医師会総会・医学会	3月号
宮崎県医師会創立134周年記念医学会・県民健康セミナー	4月号
九州医師会連合会第405回常任委員会	4月号
各郡市医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会/公衆衛生・感染症委員会	5月号
All Miyazaki研修医スタートアップセミナー	5月号
九州医師会連合会令和4年度第2回各種協議会	5月号
全国医師会医療秘書学院連絡協議会令和4年度第2回常任委員会および第2回運営委員会について	5月号
第178回宮崎県医師会定例代議員会（概要）	8月号
令和5年度第80回宮崎県医師会総会	8月号
九州医師会連合会第406回常任委員会	8月号
九州医師会連合会第407回常任委員会	8月号
九州医師会連合会第408回常任委員会	9月号
九州医連連絡会第33回常任執行委員会	9月号
第1回各郡市医師会長協議会羽生田たかし参議院議院国政報告会（各郡市医師連盟委員長会）	9月号
九州医師会連合会第409回常任委員会	10月号
九州医師会連合会第410回常任委員会	10月号
第125回九州医師会連合会定例委員総会	10月号
第67回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和5年度九州学校検診協議会（年次大会）	11月号
令和5年度九州学校検診協議会役員会	11月号
令和5年度九州各県医師会学校保健担当理事者会（日本医師会学校保健担当理事との懇談会）	11月号
令和5年度九州医師会連合会学校医評議員会	11月号
第2回各郡市医師会長協議会	12月号
宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議	12月号

九州医師会連合会第411回常任委員会

12月号

【報告（その他）】

外来感染対策向上加算について

宮 崎 市 眞 柴 晃 一

2月号

第24回宮崎県医師会医家芸術展

10月号

【宮崎県医師協同組合だより】

メディカル法人カードのご案内

1月号

医師協同組合取扱い保険について

3月号

医療廃棄物の収集処理・MEDICAL JCB CARD新規ご入会キャンペーン

5月号

休診共催のご案内～医師の休業を補償します～

7月号

宮崎県医師協同組合第39回通常総代会

8月号

医療廃棄物の収集処理

9月号

弁護士との法律顧問契約締結について

11月号

グループ保険（団体定期保険）のすすめ

11月号

【宮崎県医師国保組合だより】

保健事業のご案内

1月号

保健事業のご案内

2月号

健康事業のご案内

3月号

令和5年度の保険料賦課額について

4月号

国民健康保険法第116条にかかる届出について

4月号

令和4年度 宮崎県医師国民健康保険組合 第128回通常組合会

5月号

保健事業のご案内

6月号

保健事業のご案内

7月号

保健事業のご案内

8月号

令和5年度 宮崎県医師国民健康保険組合 第129回通常組合会

9月号

当組合のWebサイトをリニューアルいたしました

10月号

保健事業のご案内

10月号

当組合のWebサイトをリニューアルいたしました

11月号

保健事業のご案内

11月号

保健事業のご案内

12月号

【追悼のことば】

佐 藤 重 國 先生

西都市西児湯医師会

4月号

児 玉 英 昭 先生

延岡市医師会

7月号

【ニューメンバー】

中 山 恵 介（なかやま けいすけ）

宮 崎 市

6月号

青 山 剛 士（あおやま たけし）

宮 崎 市

7月号

松 本 健 吾（まつもと けんご）	宮 崎 市	9月号
牧 野 裕 子（まきの ゆうこ）	宮 崎 市	10月号

【診療メモ】

不眠症の薬物療法

宮崎大学医学部臨床神経科学講座 精神医学分野	治 田 彩 香	1月号
点眼薬を処方する際の注意点	大塚小松台眼科 中 山 恵 介	2月号
気管支喘息について	国立病院機構宮崎東病院 呼吸器内科 松 元 信 弘	3月号
皮膚科外用薬について	くるみ皮膚科 加 嶋 亜 紀	4月号
キズの治療に対する最近の考え方（形成外科の視点から）		
大塚病院 形成外科	大 塚 康二郎	5月号
病理診断領域におけるAI	宮崎県立宮崎病院 病理診断科 丸 塚 浩 助	6月号
臨床現場で遭遇する倫理的「ジレンマ」の特性とその対処法		
宮崎大学医学部医学科社会医学講座 生命・医療倫理学分野		
宮崎大学医学部附属病院 中央診療部門臨床倫理部（併任）	板 井 孝壱郎	7月号
発達障害診療の実際		
宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野	森 こずえ	8月号
OSTrain-VR Project		
－ストーリーセルフケア習得のためのVRトレーニングシステムの開発－		
宮崎大学医学部外科学講座	甲 斐 健 吾	8月号
アレルギー免疫療法の過去・現在・未来		
宮崎大学医学部附属病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科	後 藤 隆 史	9月号
側弯症診療（運動器検診で何を診る？）		
宮崎大学整形外科（脊椎・側弯症外来）	永 井 琢 哉	10月号
自験例からみた「自殺」についての小考察	中山医院 中 山 健	10月号
医療機関における性的少数者への対応について		
宮崎市 地域振興部 文化・市民活動課	中 野 佳 代	11月号
臍帯血バンクについて～臍帯血治療の現状と展望～		
宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野	児 玉 由 紀	12月号

【身近なお困りと相談室】

第16回：患者の保険解約手続と医療機関の関与

弁護士法人きさらぎ	高 山 桂	1月号
第17回：防犯カメラの設置・運用について		
弁護士法人きさらぎ	高 山 桂	2月号
第18回：医師の救急搬送の同乗について	弁護士法人きさらぎ	3月号
第19回：未払い診療費の回収について	弁護士法人きさらぎ	4月号

第20回：治療費の返還および賠償請求について

弁護士法人きさらぎ	高 山 桂	
損害保険ジャパン株式会社 宮崎保険金サービス第一課	山 崎 寿 文	5月号
第21回：試用期間と本採用拒否について 弁護士法人きさらぎ	高 山 桂	6月号
第22回：退院を拒否する入院患者の対応について		
弁護士法人きさらぎ	高 山 桂	7月号
第23回：問題行動を起こす患者対応について		
弁護士法人きさらぎ	高 山 桂	8月号
第24回：看護師が病院を選ぶ理由，去る理由		
弁護士法人きさらぎ	高 山 桂	9月号
第25回：治療行為に関する患者以外の同意について		
弁護士法人きさらぎ	高 山 桂	10月号
第26回：「パートナー」による同意について		
宮崎県医師協同組合顧問弁護士	高 山 桂	11月号
第27回：医療機関の敷地内で起きた事故について		
宮崎県医師協同組合顧問弁護士	高 山 桂	12月号

【宮大医学部学生のページ】

宮崎大学清花祭 第18回～撥雲見天～ 開催報告

清武キャンパス実行委員長	宮崎大学医学部医学科4年	村 社 優 介	
医学展実行委員長	宮崎大学医学部医学科4年	野 村 新太郎	1月号
地域で医療をするということ	宮崎大学医学部医学科5年	富 永 碧	2月号
部活動紹介～FMIG宮崎～	宮崎大学医学部医学科5年	加 藤 利佳子	3月号
医師国家試験と国試対策委員会の活動			
	宮崎大学医学部医学科6年	阿 萬 樹 生	4月号
2022年度国家試験の結果報告と国家試験対策委員会の活動			
宮崎大学第118回国家試験対策委員会 委員長			
	宮崎大学医学部医学科5年	奥 田 龍之介	5月号
令和5年新歓委員会からご報告	宮崎大学医学部医学科4年	藤 崎 泰 詞	6月号
部活動紹介 宮崎大学医学部ラグビー部			
	宮崎大学医学部医学科4年		
	ラグビー部主将	眞 木 諒 太	7月号
音楽祭実行委員長よりご報告			
第20回宮崎大学医学部音楽祭実行委員長			
	宮崎大学医学部医学科4年	瀬 藤 瞳	8月号
活気ある学生生活へ	宮崎大学医学部医学科4年	早 瀬 陸	9月号

実習前のCBT・OSCE試験について

宮崎大学医学部医学科5年 一 色 泉 10月号

宮崎大学学園祭 第19回清花祭

清花祭清武キャンパス実行委員長 川 畑 隆 士 11月号

研究室配属について 機能生化学分野

宮崎大学医学部医学科3年 眞 崎 翔 12月号

【その他】

宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員名簿（医科） 2月号

社会保険診療報酬請求書審査委員会委員名簿（医科） 7月号

令和5年総目次 12月号

【お知らせ】

宮崎県医療勤務環境改善支援センター 各 号

郡市医師会への送付文書 各 号

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています 各 号

日州医事原稿募集のお知らせ 各 号

医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！

1～4, 6, 7, 9, 11, 12月号

日本医師会医師年金ご加入のすすめ 1～4, 8～12月号

宮崎県医師会メーリングリストのご案内 1, 2, 4, 8～10, 12月号

カット, イラストの募集 1, 8, 9, 11, 12月号

女性医師の皆様へ（マタニティ白衣無料貸出） 2, 3, 8, 10, 12月号

医療事故調査制度相談窓口 4, 9～12月号

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について 5～10月号

令和5年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い 7～12月号

第7回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集 7, 8, 9月号

第31回日本医学会総会 1, 2月号

第24回宮崎県医師会医家芸術展作品募集！ 4, 5月号

「はまゆう随筆」原稿募集 5, 6月号

第24回宮崎県医師会医家芸術展 7, 8月号

「新春随想」原稿募集 10, 11月号

県医師会館大規模修繕工事について 1月号

勤務医・研修医の先生へお知らせ～春の異動シーズンに備えて～（医師会・医師協同組合） 3月号

日本医師会公式キャラクター「日医君」LINEスタンプ 3月号

宮崎県医師会諸会費について 4月号

宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防の取組みに係る医療機関対象調査について 4月号

宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置

5月号

令和5年度第80回宮崎県医師会総会

6月号

日本医師会員向けキャッシュレスサービス

9月号

年末・年始の休館について

12月号

【案内】

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

8月号

日本医師会

医師年金

—ご加入のおすすめ—

医師年金は、日本医師会が運営する医師専用の私的年金です。

日本医師会員で満64歳6カ月未満の方が加入できます（申し込みは64歳3カ月までをお願いします）。

医師年金
ホームページで
ご加入時の

受取年金額のシミュレーションが
できます！

医師年金

検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

医師年金の特長 医師年金のしくみ 医師年金シミュレーション よくあるご質問 手続ガイド お問い合わせ・資料請求

豊かで安心できる将来に向けて

見積もり機能拡充 現役引退後、公的年金だけで、現在の生活水準を維持できますか？

医師年金シミュレーション

ご加入の際の年金額についてシミュレーションしてみよう。

保険料からシミュレーション 受給年金からシミュレーション

マイページに登録した後、ネット上で医師年金加入の仮申し込みができます。

マイページ登録 マイページへログイン

【シミュレーション方法】

トップページから「シミュレーション」に入り、ご希望の受取額や保険料、生年月日を入力すると、年金プランが表示されます。

【仮申し込み方法】

「マイページ」に登録すると、ネット上で医師年金の仮申し込みが可能となります。

お問い合わせ・資料請求：日本医師会 年金福祉課 ☎03-3942-6487(直) (平日 9時半～17時)

11月のベストセラー（宮崎県）

集計：2023年11月2日～11月24日

1 続 窓ぎわのトットちゃん	黒 柳 徹 子	講 談 社
2 ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	東 野 圭 吾	光 文 社 文 庫
3 すべての恋が終わるとしても 140字の恋の話	冬 野 夜 空	ス タ ー ツ 出 版
4 正 欲	朝 井 リ ョ ウ	新 潮 社 文 庫
5 今日、誰のために生きる？	ひ す い こ た ろ う	廣 済 堂 出 版
6 サピエンス全史（上）（下）	ユヴァル・ノア・ハラリ	河 出 文 庫
7 思い出の屑籠	佐 藤 愛 子	中央公論新社
8 頭のいい人が話す前に考えていること	安 達 裕 哉	ダイヤモンド社
9 星を編む	風 良 ゆ う	講 談 社
10 科学がつきとめた「運のいい人」	中 野 信 子	サンマーク出版

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎ (0985) 56-0868

女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣・スクラブ・パンツを貸し出しています～



妊娠されている医師の方が、心地よく快適に過ごせますよう、マタニティ白衣、スクラブ、パンツをご用意いたしました。妊娠後期の短い間の着用ですが、どうぞご利用ください。

医師会員でなくてもお申込みできますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

詳しくは、宮崎県医師会ホームページ
(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>) をご覧ください。



お問い合わせ先

宮崎県医師会 担当 平川

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
10月30日	・公認心理師活動状況等調査の実施について ・「令和5年度九州・沖縄地区医療安全に関するワークショップ」の開催について
10月31日	・「日本地域包括ケア学会 第5回大会」の開催について ・厚生労働省「訪日外国人受診者医療費未払情報報告システム」に係る取組について（周知・協力依頼） ・「マイナ保険証、1度使ってみませんか」キャンペーンポスターについて（協力依頼） ・「令和5年度褥瘡多職種研修会」の開催について
11月7日	・新型コロナウイルス感染症の対応に関する医療機関向けの啓発資材について ・感染症発生届出に係る保健所への電話連絡の実施について（周知依頼） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について（通知） ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令附則第四項の規定によりなおその効力を有するものとされた同令第三条の規定による改正前の予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について（通知） ・「新型コロナワクチン 予診票の確認のポイント」の改訂について ・予防接種法に基づく副反応疑い報告制度について（周知依頼） ・指定訪問看護ステーションにおけるオンライン請求・オンライン資格確認の導入に関するオンライン説明会（ライブ配信）開催の周知について（周知） ・厚生労働省外国人患者受入れ医療機関対応支援事業「夜間・休日ワンストップ窓口」及び「希少言語に対応した遠隔通訳サービス」オンライン説明会（第2回）のご案内について ・医療用物資の国備蓄品の売却について（その5） ・病院の耐震改修の状況の調査について（依頼） ・業務用厨房施設における一酸化炭素中毒事故の防止について（周知依頼） ・地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律に基づく都道府県計画及び市町村計画並びに地域医療介護総合確保基金の令和5年度の取扱いに関する留意事項について ・日本学校保健会が主催する研修会の実施要項について（送付） ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて（通知）
11月10日	・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（20版） ・新型インフルエンザ等感染症等への備えに係る平時における都道府県と検疫所の連携の確保について

送付日	文 書 名
11月10日	・香りへの配慮に関する啓発ポスターについて（周知依頼） ・看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針について ・災害拠点病院の調査について ・予防接種事務デジタル化に係るアンケートについて(協力依頼) ・水銀血圧計等の回収促進に向けた協力依頼について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その59）」の送付について ・飲酒運転の防止に向けた広報啓発用資料の活用等について ・令和6年度診療報酬改定について～財政制度等審議会財政制度分科会「社会保障」の議論を受けて～
11月14日	・宮崎県における外来対応医療機関の指定について（通知） ・「新型コロナウイルス感染症の令和5年10月以降の公費支援の費用の請求に関する診療報酬明細書の記載等について」等の一部訂正について ・労働安全衛生規則等の一部を改正する省令等の施行について ・リスクアセスメント対象物健康診断に関するガイドラインの策定等について ・日本医師会セキュリティガイドライン相談窓口について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・令和5年度乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間の実施に伴う普及啓発について（依頼） ・シンポジウム「あなたが望む生き方今から始める人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」開催のご案内 ・医療用物資の配布時期について（周知） ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・「年収の壁・支援強化パッケージ」に関する周知について（協力依頼） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その60）」の送付について ・オセルタミビルリン酸塩ドライシロップの在庫逼迫に伴う協力依頼 ・GLP-1受容体作動薬の在庫逼迫に伴う協力依頼（その2） ・抗インフルエンザウイルス薬等の安定供給について ・発達障がい診断・治療に関する調査の実施について（依頼） ・厚生労働省「令和5年度動物由来感染症対策技術研修会」について
11月17日	・妊婦にとって禁忌とされている新型コロナウイルス感染症治療薬の処方並びに調剤に関する合同声明文について ・分娩取扱施設の特色・サービス・平均費用等の情報提供を行う「分娩取扱施設情報提供ウェブサイト」（仮称）の開設について ・医療機関への支援に関する「重点支援地方交付金」の活用について ・GLP-1受容体作動薬の在庫逼迫に伴う適正使用の周知依頼について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その61）」の送付について ・特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）の一部改正について ・介護サービス事業所・施設等への支援に関する「重点支援地方交付金」等の更なる活用について ・公益社団法人日本医師会・公益社団法人日本獣医師会・厚生労働省による連携シンポジウム「わたしたちの身近にせまる感染症－ワンヘルスの視点から新たな感染症と再流行する感染症を考える－」の開催について ・検査料の点数の取扱いについて

送付日	文 書 名
11月21日	・消費税インボイス制度に関する補助資料「適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入と医療機関の対応」の改訂について ・2023年度第2回認知症短期集中リハビリテーション研修（医師対象）【Webによる研修】の開催について（情報提供） ・第三者行為に係る診療報酬明細書（レセプト）の特記事項欄記載依頼文書の送付について（お願い）
11月24日	・第一三共社の12歳以上用の新型コロナワクチン（オミクロン株（XBB.1.5）の1価ワクチン）の接種体制の構築，配送等について ・妊婦禁忌の新型コロナウイルス感染症治療薬の処方並びに調剤に関する合同声明文等の公表について ・（令和6年1月始期）新型コロナウイルス感染症対応日本医師会休業補償制度について ・抗インフルエンザウイルス薬等の安定供給について（通知） ・医療扶助のオンライン資格確認に関するお知らせ ・令和5年12月31日までに電子情報処理組織の使用による請求を開始することとしている医療機関等における医療情報・システム基盤整備体制充実加算の特例について（注意喚起） ・雇用管理分野における個人情報のうち健康情報を取り扱うに当たっての留意事項の一部改正について ・まむし抗毒素保有医療機関について ・「デフレ完全脱却のための総合経済対策」及び令和5年度補正予算案の決定について
11月28日	・新型コロナウイルス感染症患者への診療風景などの写真提供に関するご協力のお願い ・令和6年度以降の新型コロナワクチンの接種について ・国産ワクチン治験のお知らせ ・ノロウイルスの感染症・食中毒予防対策について ・令和5年度学校保健関係の地方交付税措置の主な内容の周知について ・特別なコミュニケーション支援が必要な障害児者の入院時における支援者の付添いの受入れについて ・中華人民共和国における小児の呼吸器感染症の増加について ・令和5年度厚生労働省委託事業「在宅医療関連講師人材養成事業」における研修会の実施について（依頼） ・「日本地域包括ケア学会 第5回大会」の開催について（再周知依頼） ・職業紹介事業者を安心して利用するために（厚生労働省作成のリーフレットについて） ・令和5年度「治療と仕事の両立支援シンポジウム」の周知について（ご依頼） ・シンポジウム「先端的な医科学技術がもつ生命倫理の課題」のオンライン開催に関するご案内 ・「抗微生物薬適正使用の手引き 第三版」の周知について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて（通知）

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



って診察室を訪れる方もいます。早く回復するように診療したいのですが、最近では困ったことに検査キットや薬剤が不足しがちで不安定な状況です。例年、年末にはインフルエンザなどの感染症が増えるので、今から戦々恐々です。

また、気になる傾向としては、新型コロナを経験して発熱への意識が高まったせいか、熱の原因検索を求める患者さんが多く、中には検査を求めてドクターショッピングの方もみかけます。保険診療のルールに則って必要な検査を行います。必要ではないと判断したときは患者・保護者と話し合い、咳エチケットや体調がすぐれないときは自宅療養するなどの感染予防の基本をもう一度確認し自宅療養を指導しています。

発熱時の対応や療養への理解度にはどうしても個人差がありますが、どの患者にも落ち着いて健康管理・療養をしていただくべく感染予防の啓蒙が引き続き必要だとあらためて実感します。そして医療従事者としては、安心して診療に集中できる環境が整うことを望みます。(横山)

* * *

訪日観光客数がコロナ流行前を超えたとの報道があります。オーバーツーリズム問題やそもそも円安で気安く訪日されていると考えると全く喜べません。京都や大阪、奈良では外国人ばかり見かけます。そして日本人は下働きと。交通渋滞やごみ問題、無賃乗車の犯罪系*YouTuber*もありました。さまざま要因はあるのでしょうが宿泊代も高騰です。日本人には旅行は厳しい状況です。入国税を10万円ぐらい頂くわけにはいかないのでしょうか？(菊池)

* * *

年末になり、国内の政治への不満が高まっています。世界に目を向けると、欧州や中東では国同士の対立が起こっており、世界中がきな臭さを徐々に増しています。来年はどんな1年かを考えてみますと、米国大統領選・台湾総統選・自民党総裁選と各国で重要な節目を迎える年であり、日本にとっても大きく影響される年になるでしょう。一つひとつの決断が日本の行く末を左右する今、国民一人ひとりが真剣に日本の将来を考えていく必要があると思います。年の終わりにまじめな文面でごめんなさい。

(植田)

* * *

最近娘が学校で購入した彫刻刀を見て、かまぼこ板彫刻を始めてみました。最近の彫刻刀は安全装置がついていたり、切れ味も鋭く昔使っていたものと比べると格段に使いやすい印象です。一度削り始めると無心になり、いつしか時間が過ぎていきます。あまり夢中になりすぎて右手がやや腱鞘炎気味になったので最近では自重していますが、以前購入した丸い木材の端材を見つけ、次は鷹を彫ってみようと画策しています。(長井)

先日まで熱中症の心配をしていたのに、急に寒くなり、気づくと年末です。新型コロナウイルスが落ち着いてきましたが、小児科では季節性も季節外れも複数の感染症が流行しています。いつもだと夏季に流行る手足口病にかかったばかりなのに今度はインフルエンザという方も珍しくありません。繰り返して熱がでたり風邪症状が長引いたりして、患者・家族ともに疲れ切

1年間の実習を終え、クリニカルクラークシップⅡが始まろうとしています。今回の実習では診療科を自身で選択することができましたが、将来何科に進むか明確に決まっていなかった私は選択に難渋しました。悩みながらも自分なりに選択した診療科で1年間楽しみながらも真面目に実習に取り組んでいきたいと思います。また昨年、先輩方や先生方から教えていただいたことを後輩に少しでも還元してあげられるような先輩になれたらと思います。(山本)

* * *

先日、Pre-CC OSCEおよびCBTが無事に終了し11月半ばまでの2か月間の休暇が訪れました。この期間、東京・熱海・栃木・福岡・北海道など多くの場所を観光で訪れました。時に1人旅行をすることもあれば、時には高校時代の友人たちと旅行したりなどさまざまな楽しみ方をしました。時間に余裕がある学生時代だからこそできる、とてもよい経験だったと感じております。来週からはいよいよ病院での実習が始まります。現場で学習できることについて、わくわく感とともに不安で胸がいっぱいです。

(境)

* * *

福岡での会合に出席するために、土曜日の午前の診療が終わって車で空港に行ってみると、空港駐車場入り口は入場待ちの長蛇の列。しかたがないため空港周辺の駐車場に行ってみると、どこも満杯。結局、飛行機の時間には間に合わず、帰宅しました。次回からはタクシーあるいは電車を利用するかと考慮中です。(佐々木)

今月のトピック

日州医談 医師会の組織力強化と医師会を取り巻く環境の変化

医師会の役割や医師会を取り巻く現況について宮崎県医師会常任理事の市来能成先生に解説していただきました。現在、医師会の加入率は50%そこそこです。これが50%を切ると、医師会は医師の代表としてみてもらえず、発言力の低下が危惧されます。昨今、世間の医師会を見る目は決して暖かいものではなく、診療報酬下げに反対するものは皆無でしょう。自衛のため、ひいては地域医療を守るためにも、我々は国政選挙への投票率向上と同時に、医師会の組織率の向上も強く意識しなければならないと思います。

4 ページ

身近なお困りごと相談室 医療機関の敷地内で起きた事故について

当院もご高齢の患者さんが多く、小さな物損や接触は時々あります。なかには事故をした自覚のない方もおられますし、目撃者がいたとしても、証言をしてくれるかも難しい問題です。また保険に入っていない方もおられ、数万～数十万円以上になる損害額を現実的に請求できるのかという問題もあります。

19ページ

診療メモ 臍帯血バンクについて～臍帯血治療の現状と展望～

臍帯血バンクと臍帯血治療について宮崎大学医学部産婦人科の児玉由紀先生に教えていただきました。血液疾患や免疫不全だけでなく、脳性麻痺や脳の損傷、障害にも有効性が期待できるとのことで、今後発展が期待される治療だと思いました。

64ページ

日 州 医 事 第892号 (令和5年12月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一, 高橋 典子, 石田 康行,
長井 慎成, 早川 学, 横山 晃子

学 生 委 員 鍛冶川雄登, 山本 樹, 境 笙太郎, 金城 由歩

担当副会長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)